

amazing
THAILAND
Always Amazes You

バードウォッチング・ガイドブック

タイで野鳥観察を楽しもう

THAILAND BIRD'S ROUTE

A Mini Guide Book for Bird Lovers



和名：ミドリオタイヨウチョウ
ドイインタム国立公園 チェンマイ



Special Thanks:

- ブンソン レカガン医師著 野鳥観察マニュアル「タイの野鳥」
- タイ鳥類保護協会(BCST)
www.bcst.or.th
- ランナータイ鳥類保護協会
www.lannebird.org
- ナロンサクク バンジャハローン氏
鳥類アドバイザー E-mail: king@king-collection.com
- 岡部和比古氏(おかべかずひこ)
日本鳥類アドバイザー
E-mail: okkaazbue@yahoo.co.jp
- スパチャイ サンカタット ナ アユタヤ氏より、本ガイドブック掲載の全ての野鳥の写真を提供。鳥類写真家
tujazz.multiply.com
E-mail: tujazz@hotmail.com
- タイ国鷹と鷲の学習団体
www.thairaptorgroup.com

目次

CONTENTS



鳥の解剖学.....4-5

1年を通しての野鳥の行動.....6

野鳥観察記録.....7

タイの地図.....8-9

● タイ北部

ドイ・インタノン国立公園.....10-13

ホアイカー ケン 野鳥たちの聖域.....14-17

● タイ東北部 (イサーン)

カオヤイ国立公園.....18-21

サケラート環境研究所.....22-25

● タイ中央部

ケンクラチャン国立公園.....26-29

トーンパーブーム国立公園.....30-33

カオ・サムローイ・ヨード国立公園.....34-37

ブンボラベット.....38-41

● タイ南部

カオソック国立公園.....42-45

レーダーヒル タカ観察のメッカ46-48

野鳥たちの写真.....49

野鳥観察の準備、交通アクセス方法.....50

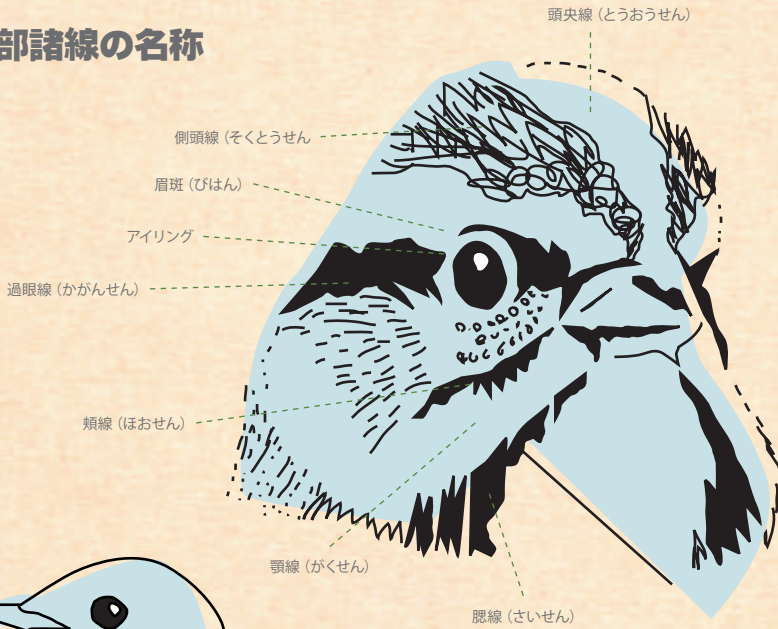
タイ自然保護活動家達の伝記と感動とは51



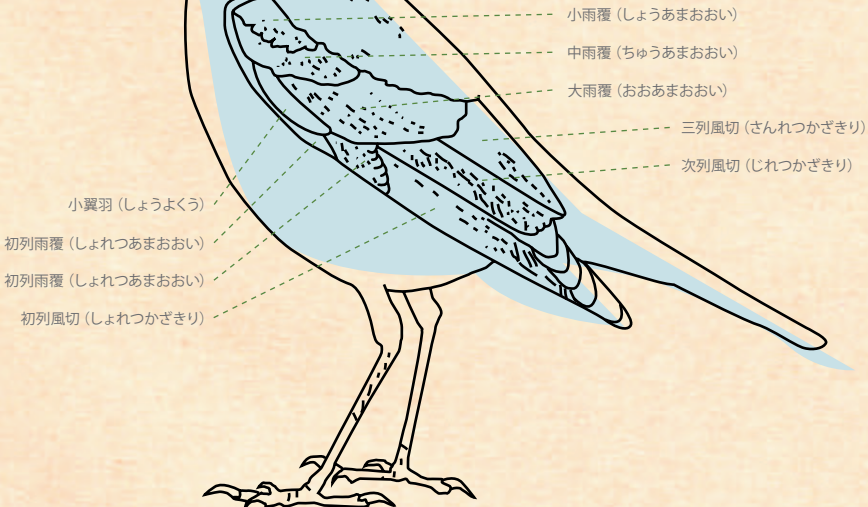


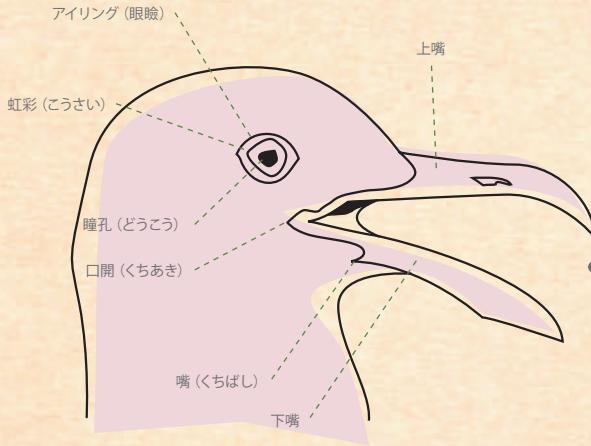
鳥の解剖学

● 頭部諸線の名称

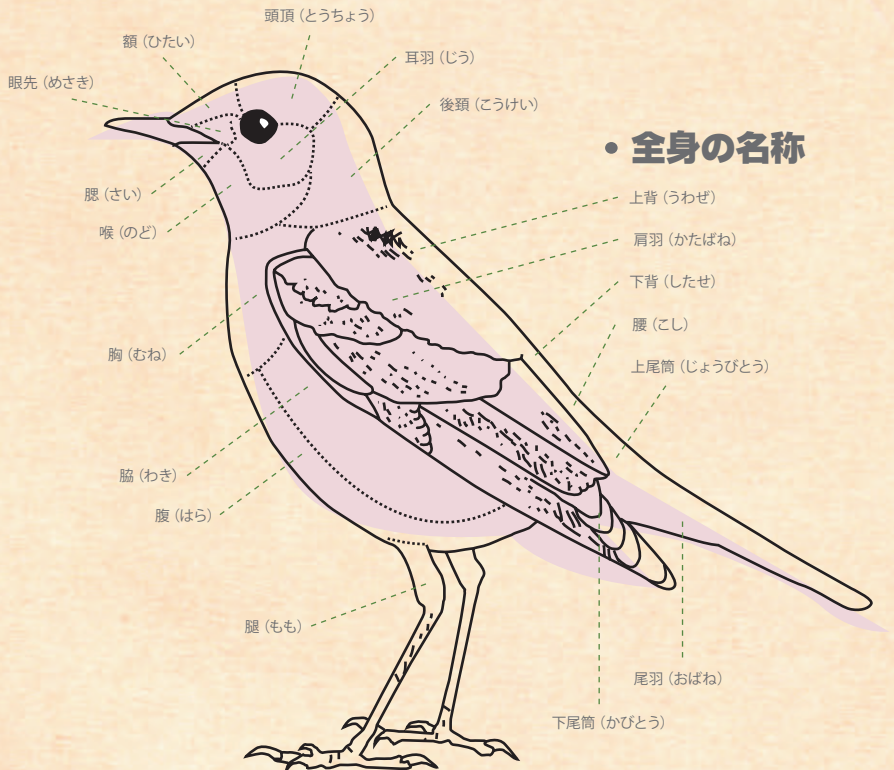


● 翼各部の名称





• 嘴・眼の名称



• 全身の名称

1年を通しての野鳥の習性

1年を通して野鳥の習性を注意深く観察してみると、日ごと以外にすべての野鳥がその時間帯によっても刻一刻と変化していることがわかります。それらは、季節ごとの自然の変化と密接に関係しているのです。



繁殖期とは、野鳥の生命にとって一番大切な時期で、子孫を残すため交尾をし雛を孵す時期です。交尾をしたり巣を作ったり、親鳥が雛にえさを食べさせたりといった季節を通して循環しているこのような野鳥の習性は、野鳥の生態学の学習に役立てるためにも、日時、場所などの詳細を記録しておくのと良いでしょう。また、巣の形態、発見した雛の発育状況や繁殖期の野鳥たちの行動観察は、野鳥たちの習性の妨げにならないよう慎重に行なわなくてはなりません。それは、野鳥たちがその巣や卵を捨ててしまう恐れがあるからです。もし卵が長時間放置されてしまうと、温度が一定に保たれず孵化できなくなってしまいます。

羽換期とは、野鳥の生態観察の中で更にもう一つ興味深い時期で、傷んでしまった古い羽に代わり、新しい羽が生え変わる時期を指します。ほとんどの野鳥たちは、繁殖期の後に1年に1回羽換期をむかえるのが普通ですが、渡り鳥は、1年に2回羽換期があります。ある種の野鳥は、繁殖期に他の性別の鳥の目を惹くため、古い羽からひときわ鮮やかな新しい羽が生えかわります。一方ある種の野鳥たちは、繁殖期を越すと古い羽に代わってあまりメス鳥と変わらない色の薄い地味な新しい羽へ生え変わるものもあり、オスとメスとを見分けるのが難しい種類のものもあります。

移動期とは、野鳥たちが立っていくために必要なえさを探したり、年間を通して生活しやすい環境が整っている地域を探す季節の変わり目に行なわれる習性です。北部に生息する野鳥たちを待ち受けているのは、冬の厳しい寒さです。冬は雪に覆われ、えさの在り処を探すのも一苦労です。したがってほとんどの野鳥たちは、生命を維持するために、よりえさの豊富な地を求めて移動します。冬の到来とともに南の方角に温かい気候やえさを求めて移動し、冬が終わるともう一度産卵のために生まれ故郷へ移動します。このように野鳥たちは、毎年季節ごとに地域を移動しながら生活しているのです。



野鳥観察記録

野鳥観察記録をとるといことは、双眼鏡や野鳥図鑑を使うことと同様に、野鳥を観察する上でもう一つとても重要なことです。それは、今観察している野鳥の明確な詳細データを保管するのに役立つからです。例えば、どこで発見したのか、その頻度はどれくらいか、様々な野鳥の習性についてなどです。このように記録は、検索したり復習したり更に前に踏み込んだ探求をするのに、とても便利なものです。これ以外にも野鳥の観察を楽しんでいる充実した時間を、記録を読むことにより帰宅してからも、もう一度思い出すこともできます。



野鳥観察記録

野鳥の種類..... 性別.....

発見件数..... 最初の発見日..... 最後の発見日.....

発見時刻..... 使用道具.....

場所..... 場所の状況.....

標高（海拔からの高さ）.....

ビデオ撮影の有無.....

天候.....

発見した野鳥の詳細.....

大きさ..... 体型.....

嘴の色..... 足.....

類別の特徴.....

エサ及びその他の習性.....

.....

備考.....

.....



タイ国内には、鳥の生態学の研究データとして使用するため、タイ鳥類保護協会（BCST）というタイ国内で発見された鳥のレポートを収集する機関があります。愛鳥家の皆さんは、ご自身で発見した興味深い鳥のレポートを下記の協会へ送付することもできます。

Bird Conservation Society of Thailand

221, Moo 2, Soi Ngamwongwan 27, Bangkhen, Muang District, Nontaburi 11000, Thailand
E-mail: bcst@bcst.or.th Tel. (086) 376-6824 www.bcst.or.th



野鳥の飛行ルート10

N





タイルートマップ



タイ北部

Northern Thailand ◀



ドイ・インタノン国立公園 チェンマイ

DOI INTHANON NATIONAL PARK



ドイ・インタノンはタイの最高峰で、ドイ＝山の意です。海拔 2,565m で、482.4km² が保護林となっています。南北に走るトンチャイ山脈は、タイ国内でも有数の野鳥観察ポイントの1つ。382種類以上の野鳥が生息しており、麓の森から山の頂上まで様々な場所で、様々な種類の鳥たちに出会うことができます。

野鳥の観察は、年中楽しめます。ベストシーズンは乾季(10月-2月)。この時期、山頂付近の気温は6-10度にまで落ち込むため、冷たい風から身を守る防寒具の携帯は必須です。





タイ北部

▶ Northern Thailand



ミドリオタイヨウチョウ

- 英名: Green-tailed Sunbird
- 学名: *Aethopya nipalensis*



鳴き声: 「スウィッ」、「ティ」

えさ: フクシアや石楠花などの花の蜜

特徴: ドイ・インタノンで最も美しい花の蜜を吸う鳥です。全長11cm。後頸は光沢のある深い緑色で、喉の両側、背中の上から真ん中までは赤褐色です。

翼の付根から肩、そして背中の下部は灰色がかかった緑です。翼は藍色、腰は鮮やかな黄色で、尾の生え際が濃い緑色です。胸の上の辺りは深い黄色で胸の下部に下がるにつれて赤くなっています。お腹の上部、口、脚、足は藍色です。

観測ポイント: 標高2,000m以上の高地でよく見られます。

観察時間: 乾季(10月-2月)の午前中(6:00-11:00)



ムネアカヒタキ

- 英名: Snowy-browed Flycatcher
- 学名: *Ficedula dumetoria*



鳴き声: 「チツ、チツ、チー、チー」 えさ: 森にいる昆虫をつついたり、急降下して昆虫を捕獲して食べます。 **特徴:** 全長15cm。丸く太った身体で、背中はずんだ灰色がかかった藍色です。喉は鮮やかなオレンジ色で、お腹は白、嘴が小さく細いのが特徴です。

観測ポイント: 標高800m以上の山頂、アンカー自然遊歩道付近に生息。 **観察時間:** 乾季(10月-2月)の午前中(6:00-11:00)

和名: オオアオヒタキ

- 英名: Large Niltava
- 学名: *Niltava grandis*



鳴き声: 甘く、シャープな口笛のように「ウー、ウー」と鳴き、まるで「ド・レ・ミ」のようです。 **えさ:** 小さな昆虫や木の実。 **特徴:** 全長22cm。身体は深い藍色で、額と頭頂は明るい青色です。肩、腰、顔、胸の上部は黒、お腹は深い藍色がかかった黒です。 **観測ポイント:** 標高900m以上の常緑原生林や国立公園第2チェックポイント(ジープトラック)に生息。 **観察時間:** 乾季(10月-2月)の午前中(6:00-11:00)



留鳥



冬鳥



タイ北部

Northern Thailand ◀

セボシカンムリガラ



英名: Yellow-cheeked Tit ●
学名: *Parus sibilnotus*

えさ: 森の落ち葉の下に隠れた昆虫 特徴: 全長13-14cm。後頸から黄色の混じった黒い鶏冠が伸び、頬、眉、身体下部は黄色くなっています。身体上部は、黄色と黒が交錯するうろこ状の模様で、翼には白い筋が入っています。 観察ポイント: ドイ・インタノン国立公園麓から山頂。標高900m以上の山岳地帯に生息。 観察時間: 乾季(10月-2月)の午前中(6:00-11:00)



シロボウシカワビタキ



● 英名: River Chat
学名: *Chaimarrornis leucocephalus*

鳴き声: 「サティ、ティティティ、ティート」 えさ: 岩や丸太に付いた小さな幼虫や昆虫の卵。 特徴: 全長15cm。真っ白い頭と赤いお腹はとても印象的です。背中と翼は黒で、尾の付根を覆う部分は淡い赤茶色です。 観察ポイント: 標高215m以上の滝や小川などの岩場に生息。 観察時間: 乾季(10月-2月)の午後(15:00-17:00)



ベニサンショウクイ



● 英名: Grey-chinned Minivet
学名: *Pericrocotus solaris*

鳴き声: 「スウィッチ、チート」 えさ: 小枝を渡りながら、木の皮や葉を食べる毛虫や幼虫を見つけて食べます。 特徴: 全長19cm。首と頭の両側は灰色で、首の真ん中はオレンジ色です。頭頂 背中の上部は濃い灰色、身体下部、翼のライン、腰は橙色がかかった朱色です。 観察ポイント: 標高800-2,190m付近の常緑原生林や国立公園第2チェックポイント(ジープトラック)に生息。 観察時間: 乾季(10月-2月)の午前中(6:00-11:00)

カワビタキ



● 英名: Plumbeous Water Redstart
学名: *Rhyacornis fuliginosus*

鳴き声: 「サティ、ティティティ、ティート」と長く伸びる声でまるで昆虫のようです。 えさ: 岩場にいる昆虫をつついて食べます。また、水面近くの昆虫も急降下で捕まえます。 特徴: 全長15cm。全体的に

灰色がかかった青色で、尾と尾を覆う部分は茶色です。尾を上下させるのが好きで、尾を常に動かしています。 観察ポイント: 標高300-2,285m付近の滝や小川などの岩場に生息。

観察時間: 乾季(10月-2月)の午後(15:00-17:00)



ゴシキソウシチョウ



● 英名: Silver-eared Mesia
学名: *Leiothrix argentauris*

えさ: 灌木に隠れた昆虫や幼虫 特徴: 頭は黒、耳の付近は白銀色です。嘴は黄色で、身体上部は灰色、黄色い翼の付根付近は赤色です。 観察ポイント: 標高1,500m以上の常緑原生林、灌木林、国立公園第2チェックポイント(ジープトラック)付近に生息。 観察時間: 通年、午後(15:00-17:00)





タイ北部

▶ Northern Thailand

アカハラコノハドリ

- 英名: Orange bellied Leafbird
学名: *Chloropsis hardwickii*

鳴き声: 一定のリズムで繰り返される音色は音楽のようです。えさ: 花の蜜を好み、果実をつける木にいる昆虫や幼虫も食べます。常に食べ物を探して動きまわっています。

特徴: 全長18-20cm。頭と身体はまるで葉のような緑色です。顔と首、胸の上部は黒で、翼と尾は藍色、身体下部はオレンジ色です。観察ポイント: 35km地点、標高1,500-1,800m付近の沿道にある高木の枝先につかまり鳴いている姿がよく見られます。

観察時間: 通年、午後(15:00-17:00)

ノドジマコバンシメドリ

- 英名: Chestnut-tailed Minla
学名: *Chrysominla strigula*

えさ: 昆虫や小枝にいる幼虫 特徴: 全長16-18.5cm。頭はオレンジがかった茶色で、腰はくすんだ緑色です。額は濃い黄色で、嘴は濃い茶色です。最大の特徴である尾は重なり合った一番上の羽が赤茶色で、尾の先は少し黄色が入った白です。観察ポイント: 標高1,500-3,700あたりのアンカー自然遊歩道付近。

観察時間: 乾季(10月-2月)の午前中(6:00-11:00)



宿泊



国立公園は観光客のために、宿泊施設も完備されています。

宿泊施設は、チェックイン13:00 チェックアウト11:00

- ・3人部屋 1,000/パーティ (1~2名での利用可)
- ・6-7人部屋 3,000/パーティ
- ・23人部屋 6,500/パーティ

宿泊施設は全てエアコンなし。ホットシャワーあり。テントの貸し出しもあります。3名用225/パーティ、5名用 300/パーティ。その他、寝袋30/パーティ、枕10/パーティのレンタルサービスがあります。

アクセス



チェンマイ市内からドイ・インタノン国立公園へは約48km、所要時間約1時間。

国立公園への入園料は



大人200/パーティ、子供100/パーティ。

レストラン



Mr.Deang (ミスター・デーン)、一人一食100/パーティ。バードウォッチングセンター併設、ドイ・インタノンの野鳥情報はここで集められます。ウェブサイト www.mrdeang.com



耳寄り情報

最も重要な野鳥観察ポイントは、山頂付近(約48km地点)です。朝、木の歩道がのびるアンカー自然遊歩道を急がず、時に立ち止まりながら、野鳥の鳴き声と地面をはじくり返す音に耳をすませてみましょう。尾が茶色で、青く短い翼でも愛くるしい野鳥が、飛び跳ねながら食べ物を探している姿が目前で見られるかもしれません。

*備考 本ガイドブックの野鳥の鳴き声は、タイの野鳥観察者が耳にした声をそのまま記録したものです。日本の愛鳥家の皆様も、タイでバードウォッチングを楽しむ機会がありましたら、現地野鳥ガイドからこのような野鳥の鳴き声に耳をすませてみてくださいとアドバイスがあります。



留鳥



冬鳥



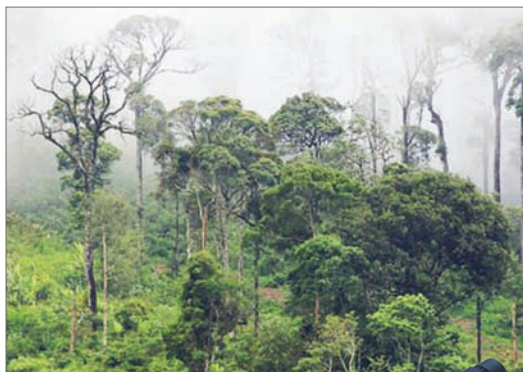
タイ北部

Northern Thailand ◀



ホアイカー ケン野生動物保護区 野鳥たちの聖域 ウタイターニー県

HUAY KAH KHAENG WILDLIFE SANCTUARY



ウタイターニー県にあるホアイカーケンは、トゥンヤイ・ナレスアン野生動物保護区に接し、両保護区は、タイ西部森林地帯の中心となっています。様々な野生動物や植物が生息し、ユネスコの世界遺産自然部門にトゥン・ヤイホワイカーケン野生動物保護区として登録されています。総面積は2,780km²、標高1,687mで、雑木林や乾燥常緑林、高地常緑林、熱帯雨林、乾燥フタバガキ林などの様々な森林に覆われ、実に733種類以上の野生動物が生息しています。野生水牛の群れが見られるタイ国内最後の地として知られる他、タイ国内で発見されている野鳥の3割以上、貴重で大変珍しい種類のものや絶滅危惧種まで、412種類の野鳥たちに出会うことが出来ます。人気の観察ポイントは、ホワイカーケン野生動物保護区周辺、料金所から駐車場付近、テント場付近、ヒンデーニーキアオ山自然遊歩道、ナンラム高地林研究所付近、ホワイカーケン川、ホワイサイボーの滝等。また、ホワイカーケン野生動物保護区でのバードウォッチングは年中楽しめ、雨季の季節の森は雨によって潤った空気の中、散歩をしながら涼しく快適に野鳥たちを観察できます。そして、乾季には小さな冬鳥たちが、この森へやってきます。





タイ北部

▶ Northern Thailand



ルリヤイロチョウ

- **英名:** Blue Pitta
学名: *Pitta cyanea*



鳴き声:「ピヤオ、ピッ」と高く大きな声で鳴きます。

えさ:落ち葉を穿り返し、昆虫や幼虫を探して食べます。

特徴:全長23cm。額から後頸、アイリング、嘴の付け根に黒いラインが伸びています。眉の辺りは橙色がかった黄色で、頭頂は朱色です。身体の上部和翼はブルーで、下部は白が入ったスカイブルーです。身体の前面上には黒い斑点模様があります。**観測ポイント:**キアオ山自然遊歩道、樹木が群生する山の麓付近に生息。**観察時間:**通年。午前中(7:00-11:00)

ビルマサイチョウ

- **英名:** Brown Hornbill
学名: *Anorrhinus tickelli*



鳴き声:「エー、エオ」又は、「ウエオ、ウエオ」と高く大きな声で不規則に鳴きます。

えさ:熱帯雨林に生える多年生の巨大な高木の真ん中から先端になる完熟した実を好みます。ただし、子育ての時は、幼鳥にカメレオンや小さなトカゲなどの小動物を与えます。

特徴:全長72-75cm。大きな黄色い嘴が特徴です。小さく突き出たおでことアイリングは空色で、身体の上部和喉は橙色がかった茶色です。**観測ポイント:**キアオ山山頂付近の常緑原生林に生息。

観察時間:通年。午後(15:00-17:00)



カワリクマタカ

- **英名:** Changeable Hawk-Eagle
学名: *Spizaetus cirrhatus*



鳴き声:「ウィ、ウィウィウ、ウィウ」**えさ:**高木の枝先につかまって、獲物に狙いを定めます。

当てもなく飛び回るのは嫌いなようで、獲物を見つけると急降下して捕獲します。ネズミやトカゲなどの小動物を好みます。**特徴:**全長75cm。身体の上部は焦げ茶色で、下部は白色です。

胸からお腹にかけて、小さく短い茶色の模様があり、足は沢山の毛が生え茶色の縞模様があります。

観測ポイント:ホアイカーケン野生動物保護区周辺の灌木林

観察時間:乾季(10月-2月)の午前中(7:00-11:00)



留鳥



冬鳥



タイ北部

Northern Thailand ◀

● 英名: Collared Falconet

学名: *Microhierax caerulescens*

モモアカヒメハヤブサ

鳴き声:「カリ、カリ、カリ」えさ: 枝につかまり、昆虫や飛んでいる小鳥を急降下して捕獲します。

特徴: 全長18cm。額と眉毛、首の周り、身体の上部は白で、下部とはっきり分かれています。眼には黒のラインが入り、腿と臀部は、赤褐色の毛で覆われています。観測ポイント: ヒンデーンキアオ山自然遊歩道
観察時間: 通年。午前中(7:00-11:00)



ヒメアオゲラ

● 英名: Lesser Yellowname

学名: *Picus chlorolophus*

鳴き声:「エーク」と強く短く、「エーオ」と大きな声で鳴きます。えさ: 木を穿り昆虫の幼虫を探して食べます。また、仲間とコミュニケーションを取るために木を突きます。

特徴: 全長35cm。鶏冠は首筋まで鮮やかな黄色です。身体はグレー、背中は黄緑、喉には黄色と白のラインが入り、黒い斑点があります。翼は赤褐色で黒の縞模様があり、飛ぶとはっきり見えます。

観測ポイント: ナンラム山ビューポイントへ向かう道路周辺の針葉樹林 観察時間: 通年。午後(15:00-17:00)



サンジャク

● 英名: Red-billed Blue Magpie

学名: *Urocissa erythrorhyncha*

鳴き声: 高く乾いた声で「ケーク、ケーク」と声をのばして鳴きます。えさ: 完熟の木の実、花の蜜、トカゲや大型昆虫なども食べます。特徴: 全長68cm。嘴は鮮やかな赤、頭から胸までは黒、首の裏から背中の上部までは白です。身体の上部和翼はスカイブルーで、身体の下部は白、尾の先端と翼の縁は黒と白です。観測ポイント: ナンラム山ビューポイントへ向かう道路周辺の灌木林

観察時間: 通年。午後(15:00-17:00)



チャイロオナガ

● 英名: Rufous Treepie

学名: *Dendrocitta vagabunda*

鳴き声:「ブン、ローン、ブン、ローン」と「ゲック、ゲック、ゲック」というメロディ

ーが大音響で共鳴します。えさ: 植物も動物も食べ、時にその死骸も食べます。急降下して飛んでいる昆虫を捕まえて食べることもあります。特徴: 全長46cm。喉仏と胸はチャコールグレー、背中と腰、尾の付根を覆う毛は赤褐色です。翼は黒で、大きな白い模様があります。お腹の下部は黄色、尾は灰色で、尾の先端には黒い模様があります。観測ポイント: ヒンデーンキアオ山自然遊歩道。灌木の枝に捕まるのが得意です。

観察時間: 通年。午前中(7:00-11:00)



クロカレハゲラ

● 英名: Black-and-Buff Woodpecker

学名: *Meiglyptes jugularis*

鳴き声:「キッ、イウ、キッ、イウ」または、「キィーク、キィーク」と高く大きな声で鳴きます。えさ: 嘴で木をつついて昆虫や幼虫を捕まえて食べます。特徴: 全長19cm。黒い毛で覆われ、頭頂部に鶏冠があります。喉の後ろから両サイドには流れるように太い白のラインが入っています。翼の上部にも白いラインが入り、腰も白色です。オスには、嘴の縁に赤いラインがあります。観測ポイント: ナンラム高地林研究所付近

観察時間: 乾季(10月-2月)の午前中(7:00-11:00)





タイ北部

▶ Northern Thailand

真孔雀 ● 英名: Green Peafowl
学名: *Pavo muticus*

鳴き声: 「トーン、ホーン」と大きな声で鳴きます。えさ: 平地の水辺で、嘴を使って草花の種や奥の新芽をつついて食べます。特徴: オスは全長180-250cm。メスは全長100-110cm。嘴はくすんだ灰色で、地肌がむき出しになっているアイリングはスカイブルー。その周りは黄色で、虹彩は茶色です。頭頂には真っ直ぐに立った緑の鶏冠があります。足と足の指、爪は焦げ茶色です。

観測ポイント: 小川の岸辺、湿原等の水辺に生息。

観察時間: 通年。午後(15:00-17:00)

● 英名: Rufous-necked Hornbill
学名: *Aceros nipalesis*

ナナミゾサイチョウ



鳴き声: 「オック、オック」と繰り返します。えさ: 高い枝先になる木の実。地上10-30mの木に開いた穴に巣を作ります。

特徴: 全長117cm。オスは、頭、首、胸の上部が鉄の錆びたような色で、胸の下部は赤茶色、翼は緑の光沢がある黒色です。長い尾は白と黒のコントラストで、虹彩は赤色です。アイリングは緑がかった空色、喉の袋の下はオレンジがかった赤色をしています。嘴は黄色がかった白色で、側面には斜めに8つの膨らみがあります。

観測ポイント: キアオ山山頂付近の常緑原生林に生息。観察時間: 乾季(10月-2月)の午前中(7:00-11:00)



宿泊



ホアイカーケン野生動物保護区では、一般の宿泊施設はありませんが、テントを張れるスペースを提供しています。愛鳥家達は自分自身でテントと寝具を用意します。ゴミを持ち帰るため、ビニール袋も忘れずにご用意ください。



アクセス



- ・バンコクからホアイカーケン野生動物保護区までは約260km、所要時間は約5時間。
- ・ウタイターニー県からホアイカーケン野生動物保護区までは約80km、所要時間は約1時間。車をチャーターする場合、1台につき往復1,800/パーツ。

野生動物保護区への入園料は



大人200/パーツ、子供100/パーツ。

レストラン



野生動物保護区にはレストランがあり、営業時間は7:00-17:00で、料金は一人一食200/パーツです。

耳寄り情報

乾季(10月-2月)は、孔雀が観察しやすい季節です。ホアイカーケン野生動物保護区では、保護区内の小川の水位が下がり長い砂の岸が現れます。孔雀は、食べ物を求めてこの岸へ降りてきます。そして、求愛行動もここで行われます。

*備考 本ガイドブックの野鳥の鳴き声は、タイの野鳥観察者が耳にした声をそのまま記録したものです。日本の愛鳥家の皆様も、タイでバードウォッチングを楽しむ機会がありましたら、現地野鳥ガイドからこのような野鳥の鳴き声に耳をすませてみてくださいとアドバイスがあるでしょう。



留鳥



冬鳥



タイ東北部 (イサーン)

Northeastern Thailand ◀



カオヤイ国立公園 ナコーンラーチャシーマー県

KHAO YAI NATIONAL PARK



カオヤイ国立公園は、タイ国内で3番目の広さを誇るアジア有数の国立公園で、2005年にユネスコの世界遺産自然部門に登録されています。4県(ナコーンラーチャシーマー、サラブリー、ナコーンナヨック、ブラチンブリー)にまたがる総面積は2,165.55k㎡、標高20-1,351 mで、肥沃な熱帯雨林と原生林に覆われ、湿原が全体に広がっています。また、3,000種類を超える植物、100種類の動物、350種類以上の野鳥が生息しています。

野鳥観察ポイントは自然環境を学ぶ自然遊歩道で、カオヤイ・モー・シントー自然遊歩道をはじめ、ノン・パクチャー自然遊歩道、ノン・

パクチャー動物観察塔、ホワイ・ラム・タコーン自然遊歩道が整備されている他ゴーン・ケーオ宿泊施設周辺、ヘオ・スワット観光センター、パーク・クルアイ・マイ宿泊施設周辺、パー・ディオ・ダーイ・ビューポイント周辺など、自然と触れ合う施設が公園の至る所にあります。

野鳥の観察は、年中楽しめます。特に、雨季の終わり(8月-9月)は野鳥たちの繁殖期にあたり、普段とは違う鮮やかな色彩の鳥たちが観察できるため、ベストシーズンといっていでしょう。カオヤイは比較的簡単に野鳥たちと出会うため、初心者のバードウォッチャーから熟練者まで幅広い層の愛鳥家を楽しめるポイントとなっています。





タイ東北部 (イサーン)

▶ Northeastern Thailand

オオサイチョウ

● 英名: Great Hornbill

学名: *Buceros bicornis*



鳴き声: 「ゴック、ゴック」、「トーク、トーク」 えさ: 完全の木の実。木の枝先にとまり、長い嘴をのばして、枝先の木の実をくわえて嘴の先までスライドさせた後、空中へ放り投げて口の中に放り込みます。特徴: 全長120-140cm。大きくて長く、カーブした嘴は濃い黄色で、嘴の先は上下きれいに揃っています。首まわりは白いふわふわの羽毛で覆われ、胸と背中、翼の真ん中と先端は黒色。羽の先端には全て白のラインが入っていて、尾の真ん中には黒いラインが入っています。どこへ飛んでいくにも長く大きな声で鳴きます。まるで列車の排気音のようです。

観測ポイント: ペアでいることが多く、標高2,000mくらいの熱帯雨林に生息。

観察時間: 通年。午前中(7:00-11:00)と午後(15:00-17:00)



ミナマイロチョウ

● 英名: Blue-winged Pitta

学名: *Pitta moluccensis*



鳴き声: 高い声で「テオレオ」または「ゴーロー」と鳴きます。

えさ: 地上で幼虫やクモ、ミミズを探して食べます。

特徴: 全長20cm。濃い茶色のラインが頭と身体の内側にあります。喉は白で黄色がかかった茶色い身体下部と対照的です。お腹の下部から臀部は鮮やかな赤、分厚い嘴は黒です。背中が緑で、曲がった尾の上部は鮮やかな空色です。観測ポイント: ノーン・バクチャー自然遊歩道周辺の灌木林。樹木の生い茂った場所の下によくいます。観察時間: 雨季の終わり(8月-9月)の午後(15:00-17:00)

アカハシハシリカッコウ



● 英名: Coral-billed Ground-Cuckoo

学名: *Carpococcyx renauldi*

鳴き声: 大きく遠くまで響く声で「ブープ、ブープアップ」、「ウープ」と鳴きます。えさ: 森で昆虫や植物の種を探して食べます。警戒心が強く、植物や樹木が生い茂る森の奥に隠れています。特徴: 全長70cm。背中と翼は灰色で、頭と首、胸、尾は紫がかかった黒です。嘴と足は鮮やかな赤、地肌がむき出しのアイリングは紫、お腹は白です。

観測ポイント: パー・ディオ・ダーイ・ビューポイント周辺の常緑原生林 観察時間: 雨季の終わり(8月-9月)の午後(15:00-17:00)



繁殖時の渡鳥



留鳥



冬鳥



タイ東北部 (イサーン)

Northeastern Thailand ◀

- 英名: Green-eared Barbet
学名: *Megalaima faiostricta*

鳴き声: 「トゥッ、カルック」と大きな声で鳴きます。えさ: 群生する高い大木の枝先で完熟した木の実や花の蜜を食べます。特徴: 全長24.5-27cm。頭と胸は焦げ茶色で引っ掻いたような模様がありお腹は薄い緑、頬と耳を覆う羽は緑です。観測ポイント: カオヤイ国立公園周辺の常緑原生林 観察時間: 通年。午前中(7:00-11:00)



ミミアオゴシキドリ



カザリショウビン

- 英名: Banded Kingfisher
学名: *Lacedo pulchella*

鳴き声: 高い声で「チウィウ、チウィウ」と繰り返して鳴きます。えさ: 昆虫、バッタ、幼虫、小さい爬虫類などが好物で、森の湿気の多い茂みに隠れて獲物待ち構え、獲物を見つけたら急降下して捕獲し、もとの枝または近くの枝にとまって食べます。特徴: 全長20cm。顔の羽は濃い茶色で、尾は鮮やかな空色です。身体の下部は、オレンジの入った薄い茶色です。お腹の辺りは白で、嘴は赤色です。観測ポイント: パーク・クルアイ・マイ宿泊施設周辺の常緑原生林 観察時間: 通年。午後(15:00-17:00)



シロクロコサイチョウ

- 英名: Oriental Pied Hornbill
学名: *Anthracoceros albirostris*

鳴き声: 高く大きな声で「ゲーク、ゲーク、ゲーク」と繰り返し鳴きます。えさ: 高い木の上で生活し、木の实、爬虫類、小鳥などを好みます。獲物を一度空中へ投げてから口の中に放り込みます。外敵から身を守るため夕方からは常に群れで行動します。

特徴: 全長70cm。身体は黒で、お腹は白です。翼の羽は先が白で、翼を広げるとはっきりわかります。地肌がむき出しのアイリングは白色、嘴と隆起したおでこは黄色で、先端には黒い斑点があります。観測ポイント: 標高1,400m以下の原生林、ゴーン・ケーオ宿泊施設周辺 観察時間: 通年。午前中(7:00-11:00)



ルリコノハドリ

- 英名: Asian Fairy Bluebird
学名: *Irena puella*

鳴き声: 澄んだ高い声で「ウィッ、ウィッ、ウィッ」と鳴きます。えさ: 高木の木の实をつついて食べます。特徴: 全長25cm。赤い瞳で、頭と翼、尾、身体の下部は黒です。頭頂と背中、身体の上、臀部は鮮やかな青色です。観測ポイント: 見つけるのが難しい鳥。ラム・タコーン川周辺、観光センターの裏など。観察時間: 通年。全日観察可能。



ズアカキヌバナドリ

- 英名: Red-headed Trogon
学名: *Harpactes erythrocephalus*

鳴き声: 「タトゥーブ、タトゥーブ、タトゥーブ」えさ: 大半を木の上で過します。枝につかまってじっとしているのが好きで、時には飛んで昆虫を捕まえます。特徴: 全長31-35.5cm。頭、胸、お腹は赤色で、背中では茶色です。翼の先端は白と黒い羽が交互に生えています。胸の下には白い三日月模様があり、長い茶色の尾は、先端は珍しい形のきれいな四角になっています。観測ポイント: カオヤイモー・シント一自然遊歩道。樹木が群生するところに隠れています。観察時間: 通年。午前中(7:00-11:00)



タイ東北部 (イサーン)

▶ Northeastern Thailand



- 英名: White-throated Rock-Thrush
学名: *Monticola gularis*

ヒメインヒヨ



鳴き声: 「ウー、アジーーット」 えさ: 森の地面に急降下し、幼虫を捕らえて食べます。

特徴: 全長19cm。頭の周辺と肩はスカイブルー、喉には細い白のラインが入り、尾の根元や腰は、赤褐色です。翼はこげ茶色に白のラインが入っています。

観測ポイント: パー・ディオ・ダーイ・ビューポイント周辺の常緑原生林 観察時間: 乾季(10月-2月)の朝(6:00-11:00)

- 英名: Chestnut-headed Bee-eater
学名: *Merops leschenaulti*

チャガシラハチクイ



鳴き声: 高い声で「ブリッ、ブリッ」、「チーウィップ、チーウィップ」と鳴きます。えさ: クマバチやミツバチ、トンボをつかまえて木の上で食べます。特徴: 全長20cm。頭から背中はおレンジ色で目には黒いラインが入っています。首と胸は鮮やかな黄色で、身体は緑色、腰は光沢のあるスカイブルーです。

観測ポイント: パクチャー池付近の草原、枝にとまっている姿をよく目にします。

観察時間: 通年。午後(15:00-17:00)

宿泊



国立公園は観光客のために、宿泊施設も完備されています。

宿泊施設は、チェックイン13:00 チェックアウト11:00

- ・2人用 800/バーツ
- ・6人用 2,000/バーツ
- ・30人用 9,000/バーツ

部屋は一棟とし、全てエアコンなし。ホットシャワーあり。

月曜から木曜は宿泊料30%オフ

アクセス



-バンコク-ナコンラーチャシーマー-県-カオヤイ国立公園まで約205km、所要時間約3時間

-バンコク-ナコンナヨック-県-ブラチンブリー-県-カオヤイ国立公園まで約190km、所要時間約3時間

国立公園への入園料は



大人400/バーツ、子供200/バーツ



レストラン



レストラン:カオヤイ国立公園にはフードセンター(タイ料理)がありません。営業時間は7:00-19:00で、料金は一人食約200/バーツです。

耳寄り情報

オオサイチョウに会いたい愛鳥家は、15:00-17:00の時間帯に観光センター近くの旧カオヤイゴルフ場で探してみてください。オオサイチョウがちょうど巣に戻る時間帯で、鳴き声を大反響させながら、枝先から枝先へ移動する姿が10羽以上も見られるかもしれません。また、その周辺を静かに歩いてゆくと、草原の辺りに出てきてえさを探す鹿に会えるかもしれません。

*備考 本ガイドブックの野鳥の鳴き声は、タイの野鳥観察者が耳にした声をそのまま記録したものです。日本の愛鳥家の皆様も、タイでバードウォッチングを楽しむ機会がありましたら、現地野鳥ガイドからこのような野鳥の鳴き声を耳をすませてくださいとアドバイスがあるでしょう。



留鳥



冬鳥



タイ東北部 (イサーン)

Northeastern Thailand ◀



サケラート環境研究ステーション ナコンラーチャシーマー県

SAKAERAT ENVIRONMENTAL RESEARCH STATION




サケラート環境研究ステーションは、ナコンラーチャシーマー県にあり総面積は78.08km²、乾燥原生林や灌木林に覆われ、標高は280-762mです。サケラートの森は、教育や研究及び様々な種類の生物保護のため、ユネスコにより生物圏保存地区(Biosphere Reserve)に指定されています。また、2006年にタイ国政府観光庁よりエコツーリズム部門で最優秀賞を授与されました。

野鳥観察ポイントは、灌木林の自然遊歩道と研究所周辺の乾燥常緑林です。また、このエリアには約230種の野鳥が生息しています。

野鳥の観察は、年中楽しめます。特に、雨季は過ごしやすく緑が美しいことから、ベストシーズンといえるでしょう。

サケラート環境研究所 

パクtonチャイ郡

ジョンアン洞窟 バーンウォンナムキアオ学校 コーイ研究所 ウォンナムキアオ郡 



タイ東北部 (イサーン)

▶ Northeastern Thailand



シマハッカク

- **英名:** *Siamese Fireback*
学名: *Lophura diardi*



鳴き声: 声はかなり大きく口笛のようです。

また、翼を羽ばたかせる音も大きいです。

えさ: 地面や竹藪で昆虫やシロアリ、幼虫、小動物や完熟の木の实を探して食べます。**特徴:** 全長60-82cm。真っ赤な顔で、光沢のある水色が混じった黒い鶏冠は羽が束になっています。尾は長くきれいな曲線を描いていて、色は水色が混じった黒です。タイの国鳥でもあります。

観測ポイント: 研究所付近の自然遊歩道にある灌木林。

観察時間: 通年。全日観察可能。



クロエリヒタキ

- **英名:** *black-naped monarch*
学名: *Hypothymis azurea*



鳴き声: 「ウィツ、ウィツ、ウィツ」

えさ: 地上から飛んでくる昆虫を急降下して捕まえます。

特徴: 全長16cm。胸の上部は水色がかった濃い空色で、頭の中央には丸い黒い斑点があります。嘴は、水色がかった灰色で、お腹の下から尾の付根までは白色です。

観測ポイント: 研究所付近の自然遊歩道の灌木林。

観察時間: 通年。午前中(7:00-11:00)



ハシブトアオバト

- **英名:** *Thick-billed Green Pigeon*
学名: *Treeron curvirostra*



鳴き声: 「ウー、ウー、ウー、ウォー、ウー」

えさ: 木の上に群がり、果物や木の实を探して食べます。

特徴: 全長27cm。頭頂は灰色で胸は緑、背中の上部、翼は赤黒い色をしています。嘴の付根、足は赤、アイリングは空色です。

観測ポイント: 研究所付近の自然遊歩道の灌木林。

観察時間: 通年。全日観察可能。



留鳥



冬鳥



タイ東北部 (イサーン)

Northeastern Thailand ◀



- 英名: White-rumped Shama
学名: *Copsychus malabaricus* アカハラシキチョウ

鳴き声: かすれた大きな声で「グレーク、グレーク」と鳴きます。えさ: 木の半ばくらいで枝から枝へ渡り、動きにあわせて鳴き声をだしながら餌を探します。木の実や昆虫、小動物など、ほぼ何でも食べます。

特徴: 全長33cm。身体は赤褐色、翼の先はスカイブルーで、白のストライプが入っています。頭頂と尾は黒、額と頬、腮、喉は白色です。観測ポイント: 研究所付近の自然遊歩道の灌木林。

観察時間: 通年。全日観察可能。

キビタイコノハドリ

- 英名: Golden-fronted Leafbird
学名: *Chloropsis cochinchinensis*

鳴き声: 音楽を奏でるように鳴きます。えさ: 花の蜜や完熟の木の实、昆虫を食べます。特徴: 全長19cm。額は橙色がかかった黄色で、太く大きなラインが、目尻から喉仏、胸の辺りに通っています。喉仏の真ん中は青色で、身体は葉のように瑞々しい緑色です。脚力と鋭い爪をもち、枝から枝へすばやく移動し、枝の上で体を回転させるほか、葉の裏に隠れた虫を捕まえるのに逆さになることも出来ます。

観測ポイント: 研究所付近の自然遊歩道の灌木林。観察時間: 通年。午後(15:00-17:00)



キンバト

- 英名: Emerald Dove
学名: *Chalcophaps indica*

鳴き声: 低い声で「ティッフーウー」または、「ティックフーウー」と鳴きます。

えさ: 森が開けた場所や日陰になる大きな木の下など、地上で餌を探します。植物の種や小さな昆虫が好物です。特徴: 全長27cm。後頸、喉の裏は水色がかかった灰色で、背中の上は赤茶色です。背中の中と肩、翼の中は濃い緑色で、肩は水色がかかった灰色です。腮、喉元、頭の両サイド、胸は、紫が混じった赤茶色で、お腹は灰色です。観測ポイント: 研究所付近の自然遊歩道の乾燥常緑林。

観察時間: 通年。全日観察可能。



カケス

- 英名: Eurasian Jay
学名: *Garrulus glandarius*

鳴き声: かすれた大きな声で「グレーク、グレーク」と鳴きます。えさ: 木の半ばくらいで枝から枝へ渡り、動きにあわせて鳴き声をだしながら餌を探します。木の实や昆虫、小動物など、ほぼ何でも食べます。特徴: 全長33cm。身体は赤褐色、

翼の先はスカイブルーで、白のストライプが入っています。頭頂と尾は黒、額と頬、腮、喉は白色です。観測ポイント: 研究所付近の自然遊歩道の灌木林。観察時間: 通年。全日観察可能。

ハクオウチョウ

- 英名: White-crested Laughingthrush
学名: *Garrulax leucolophus*

鳴き声: 高く共鳴するような声で「ジェツ、ゴーホック」または「イバオ、ホアゴック」と鳴きます。えさ: 地上や木の上で飛び跳ねながら餌を探します。ガジュマルの実やバツタ、幼虫が好物です。特徴: 全長30cm。頭は白いふわふわの毛で覆われ、喉やお腹の上部は白色です。嘴は黒で、項は灰色、背中と肩、腰は赤茶色、尾はくすんだ茶色です。観測ポイント: 研究所付近の平地の竹林。

観察時間: 通年。午後(15:00-17:00)





タイ東北部 (イサーン)

▶ Northeastern Thailand



● 英名: Laced Woodpecker
学名: *Picus vittatus* タケアオゲラ

鳴き声: 「ケロー」 えさ: 嘴で木の皮をつついてシロアリや昆虫を探して食べます。
草原や森の地面で餌を探している姿を見ることもあります。特徴: 全長30cm。身体の上部は緑、腰は黄緑色、肩は白、頬には白い斑点のある黒のラインが入っています。お腹はうろこ状の模様が入った薄い緑で、頭頂の周辺と後頸は赤色です。観測ポイント: 研究所付近の自然遊歩道の乾燥常緑林。
観察時間: 通年。午後(15:00-17:00)

● 英名: Grey-capped Woodpecker
学名: *Dendrocopos canicapillus*

鳴き声: 速く高い声で「チックイツ、チックイツ、チックイツ」と鳴きます。えさ: 嘴を使って木の中に入り、長い舌を使って昆虫を捕まえて食べます。特徴: 全長15cm。額から頭頂までは灰色で、顔は茶色です。眼の後ろから項まで白いラインが通っています。背中が黒で、白の縞模様が印象的です。翼は黒で白の斑点模様が広がっています。観測ポイント: 研究所付近の自然遊歩道の灌木林。
観察時間: 雨季から乾季(8月-2月)の午前中(7:00-11:00)



宿泊



サケラート環境研究所では、宿泊施設を完備していますが、事前1週間前の予約が必要です。宿泊施設は、3-4名用で一人泊400パーツです。

アクセス



・バンコクからサケラート環境研究所までは約339km、所要時間は約4時間。
・ナコンラーチャシーマー県からサケラート環境研究所までは約80km、所要時間は約1時間。

レストラン



環境研究所にはタイ料理のレストランがあります。料金は朝、昼、晩の3食で一人300パーツ(内訳: 朝80パーツ、昼100パーツ、晩120パーツ)です。



耳寄り情報

研究所周辺の自然遊歩道は、長すぎずとても歩きやすくなっています。3km足らずのコースは舗装された道を進んだ後、乾燥常緑林の中へ入り、灌木林の中を歩いて再び研究所へと戻ってきます。また、ここはシマハッカンの最良の観測ポイントでもあります。ピロードのような真紅の顔、種のような黒く長い頭の毛は驚いたときや求愛のときには、ピンと逆立ちます。腰周辺と尾の根元の羽毛は、煌く金色の毛が混じった炎のような赤色で、英名のファイヤーバックという名の由来にもなっています。惚れ惚れするような堂々とした立派な姿は、何度みても飽きません。

*備考 本ガイドブックの野鳥の鳴き声は、タイの野鳥観察者が耳にした声をそのまま記録したものです。日本の愛鳥家の皆様も、タイでバードウォッチングを楽しむ機会がありましたら、現地野鳥ガイドからこのような野鳥の鳴き声を耳をすませてくださいとアドバイスがあるでしょう。



留鳥



冬鳥



タイ中央部

Central Thailand ◀



ケーンクラチャン国立公園 ペッチャブリー県

KAENG KRACHAN NATIONAL PARK



ケーンクラチャン国立公園はペッチャブリー県にあり、タイの国立公園で最大の広さを誇ります。生息する野鳥の数は400種類を超え、タイで最も野鳥が生息している場所にもなっています。熱帯雨林が広がる同公園は様々な野生動物が生息しており、ペッチャブリー川とプランブリー川の水源林にもなっています。総面積は2,915 km²で、その大半はペッチャブリー県にあり、一部がプラチュアップキリカン県に跨っています。公園は殆どが森林地帯で最高峰は1,513m、タイとミャンマーの国境付近にあり、1,207mのパヌートウン山は、同公園内で2番目の高さとなります。野鳥観察ポイントは、ワンウオンーパヌートウンーパ

ンクラン間を走る幹線道路付近で、特に15km、26-29km地点では様々な野鳥たちと出会うことができます。野鳥の観察は年中可能ですが、ベストシーズンは雨季の終わりから乾季(8月-2月)となります。また、3月-6月の朝8.00-10.00頃、10-17km地点やパークラン・キャンプ場の裏には、200種類、10万匹以上の様々な蝶が、水分を補給するため群れを成して水源地周辺

の湿った地面に群がっている姿を観察することができます。ケーンクラチャン国立公園では、毎年8月1日から10月31日まで、自然環境の保護のためカオ・パヌートウンーパークラン間が入園禁止となります。





タイ中央部

▶ Central Thailand



セグロミツユビカワセミ

- **英名:** Black-backed Kingfisher
- 学名:** *Ceyx erithacus*



えさ:川辺の近くの影になった木の枝につかまり、一羽で餌を探します。昆虫や魚、小さな水生動物を好みます。**特徴:**全長14cm。大きく長い嘴は鮮やかな赤で、頭と首は赤茶色と紫色です。額の真ん中に黒のラインが入り、顔とお腹は黄色っぽい橙色です。翼は黒と銀で、腰と尾のつけ根は明るいピンク色。尾の羽は赤茶色で、脚と足は赤色です。**観測ポイント:**水源地15km地点のバンクラーン森林管理事務所付近の熱帯雨林 **観察時間:** 通年、午前中(7:00-11:00)



ツノヤイロチョウ

- **英名:** Eared Pitta
- 学名:** *Pitta phayrei*



鳴き声:「ウーウツ」または「ウィーウ、ウィツ」と鳴きます。

えさ:森の地面から幼虫や昆虫、クモ、ミミズを探して食べます。

特徴:全長23cm。頭頂、後頸と眼には黒のラインが入り、眉は白が混じった茶色です。過眼線の後ろは長い羽が束になり、耳の方へのびています。身体の上部は茶色で、下部は黄色がかかった茶色に黒い斑点模様があります。**観測ポイント:** 27km地点のカオ・パヌーントゥン森林管理事務所付近。

観察時間: 乾季(10月-2月)の午前中(7:00-11:00)



セイコウチョウ

- **英名:** Pin-tailed Parrotfinch
- 学名:** *Erythrura prasina*



えさ:竹の種、竹の実、穀物、昆虫、幼虫が好物で、木の上や地面でえさを探します。

特徴:全長13cm。身体の上部は緑色で、顔と首は青色です。お腹は黄色がかかった茶色、尾は鮮やかな赤色です。

観測ポイント: 18km地点付近の山の麓

観察時間: 通年。朝(7:00-11:00)



留鳥



冬鳥



タイ中央部

Central Thailand ◀

● 英名: Long-tailed Broadbill
学名: *Psarisomus dalhousiae*

オナガヒロハシ

鳴き声: 高い声で「スィーブ、スィーブ、スィーブ」と鳴きます。えさ: セミや甲虫目の昆虫を飛びながら捕まえます。
特徴: 全長24cm。嘴は薄い黄緑、嘴上部の先端は内側へ鋭く曲がっています。頭頂は黒で、帽子を被っているかのようです。身体と翼は薄い青緑、お腹は薄い黄緑です。観測ポイント: 15km地点のパーンクラン森林管理事務所付近の熱帯雨林に群れて枝にとまっている姿がよく観られます。雨季の終わり(8月-9月)の午前中(7:00-11:00)



● 英名: Red-bearded Bee-eater
学名: *Nyctornis amictus*

ムネアカハチクイ

鳴き声: かれた声で「エツ、エツ、エオ」と鳴きます。えさ: 急降下してミツバチやコオロギ、カナブンなどを捕まえて、枝の密集した木に持ち帰って食べます。特徴: 全長32cm。喉元から胸の上まで長く伸び、まるで髭のようなふわふわの羽は、鮮やかな赤色でとても目立ちます。喉の裏から尾の根元までは緑色で、鳴き声を出す時は飛びはねて回転しながら頭と喉もとの羽を逆立てて、空に向かって嘴を持ち上げます。観測ポイント: 26-29km地点周辺の水辺の木や葉が密集したところでよく見かけられます。観察時間: 通年。午後(15:00-17:00)



● 英名: Rufous-collared Kingfisher
学名: *Actenoides concretus*

アオヒゲショウビン

鳴き声: 高い口笛のように「カウイー、カウイー、カウイー」と鳴きます。えさ: 主に大型の昆虫、地表の小型の爬虫類を好み、トカゲやセミ、シロアリなどを食べます。特徴: 全長24cm。背中では藍色、頭は緑、顔は茶色がかかった黄色です。アイリングの黒いラインは後頭まで長く伸びています。お腹と胸の上部は茶色がかかった黄色、尾は空色、嘴はクリーム色です。観測ポイント: 15km地点のパーンクラン森林管理事務所付近の熱帯雨林。観察時間: 通年。午後(15:00-17:00)



● 英名: Silver-breasted Broadbill
学名: *Serilophus lunatus*

ギンムネヒロハシ

鳴き声: 高い声で「キーユ」と鳴き始め、最後は低い声で「キツ、キツ、キツ」と鳴きます。えさ: 木の枝や幹、枝先にいる幼虫を探して食べる他、急降下して昆虫を捕まえることもあります。特徴: 全長17cm。嘴は銀色、過眼線には黒のラインが入り、アイリングは黄色です。額は白で、頭と頬、背中は灰色がかかった薄い茶色で、尾は黒です。観測ポイント: 15km地点のパーンクラン森林管理事務所付近の沿道の木々。観察時間: 雨季の終わり(8月-9月)の午前中(7:00-11:00)



● 英名: Black-and-Red Broadbill
学名: *Cymbirhynchus maroochynchos*

クロアカヒロハシ

鳴き声: 「エーツ、エーツ、エーツ」と鳴きます。えさ: 昆虫と果物 全長25cm。身体は細くて小さく、身体の割に大きな頭をしています。身体の上は黒で翼には白いラインが入り、喉からお腹、腰は濃い赤色です。嘴の上は水色で下は黄色で、眼は水色がかかった緑です。飛んでいるときは、翼の付根の上部に入った白いラインがはっきり見えます。観測ポイント: 15km地点のパーンクラン森林管理事務所付近の小川の周辺。観察時間: 雨季の終わり(8月-9月)の午前中(7:00-11:00)





● 英名: Vernal Hanging Parrot
学名: *Loriculus vernalis*  ミドリサトウチョウ

鳴き声: 飛びながら「シーシップ、シーシップ」と鳴きます。えさ: 枝から枝をよじ登り、花の蜜を吸ったり木の実や昆虫を探して食べます。特徴: 全長15cm。頭と身体、翼、尾は鮮やかな緑色で、身体の上の方は若干色が濃くなっています。腰と尾の根元は鮮やかな赤色で、寝るときに小枝に逆さになるのが特徴です。観測ポイント: 27km地点のカオ・バヌートゥン森林管理事務所付近の熱帯雨林。観察時間: 乾季(10月-2月)の午前中(7:00-11:00)

● 英名: Ferruginous Partridge
学名: *Caloperdix ocella*  アカチャシャコ

鳴き声: 高い声で「ウィーツ、ウィーツ」と鳴きます。えさ: 森の地面から幼虫や昆虫、クモ、ミミズを探して食べます。特徴: 全長23cm。頭と身体の下部は赤褐色で、過眼線には黒の薄いラインがあります。身体の側面は黒と白のストライプで、向こう脛の後ろに短い蹴リヅメがあります。観測ポイント: 27km地点のカオ・バヌートゥン森林管理事務所付近。観察時間: 雨季の終わり(8月-9月)の午前中(7:00-11:00)

宿泊 

ケーンクラチャン国立公園には観光客のために、宿泊施設もあります。

部屋施設は、チェックイン13:00 チェックアウト11:00

- ・4人部屋 1,200バーツ (1~3名での利用可)
- ・6人部屋 1,800バーツ
- ・9-10人部屋 3,000バーツ

部屋は全てエアコンなし。ホットシャワーあり。テントの貸し出しもあります。2名用120バーツ、4名用300バーツ。その他、寝袋(30バーツ)と枕(10バーツ)のレンタルサービスもあります。

アクセス 

- バンコウケーンクラチャン国立公園まで約324km、所要時間約3時間
- ペッチャブリー県-ケーンクラチャン国立公園まで約4km、所要時間約10分

国立公園への入園料は 

入場料: 大人200バーツ、子供100バーツ、開園時間 5.30-19.00

レストラン 

ケーンクラチャン国立公園には売店やレストラン(タイ料理)があります。営業時間は6.00-21.00で、料金は一人一食200バーツです。



耳寄り情報

ケーンクラチャンの森は、タイで唯一のラシェット・テイル・トゥリープル(Ratchet-tailed Treepie)の生息地です。タイで最初に発見されたのは1992年、ケーンクラチャン国立公園内バーン・ワン・ウオン・カオ・バヌートゥン間の28km地点付近です。しかし、警戒心が強くなかなか姿を現しません。大きく長い尾が特徴でノコギリの刃のようなとげがあり、身体はチャコールグレーです。世界中のバードウォッチャーが生涯一度は会いたいと思える鳥です。

*備考 本ガイドブックの野鳥の鳴き声は、タイの野鳥観察者が耳にした声をそのまま記録したものです。日本の愛鳥家の皆様も、タイでバードウォッチングを楽しむ機会がありましたら、現地野鳥ガイドからこのような野鳥の鳴き声を耳をすませてくださいとアドバイスがあるでしょう。





タイ中央部

Central Thailand ◀



トーンパープーム国立公園 カンチャナブリー

THONGPHAPHUM NATION PARK



トーンパープーム国立公園はカンチャナブリー県にある国立公園です。多雨林の地帯で「霧のカーテン」と言われています。総面積は1,120k㎡で、敷地内の大半は山脈が入り組んだ地形となっています。また、海拔は100-1,249mとなっていてこの山岳地帯で一番高いところが、国立公園の西側に位置するチャンプアック山となっています。この山は高さが1,249m、4つの森林地帯を持つ山です。熱帯雨林、乾燥原生林、山地常緑林の混交林となっています。トーンパープーム

ム国立公園はミャンマーの国土と陸続きのため、動物たちがよく移動することがわかりました。また、タイとミャンマーの国境付近では、非常に貴重な野鳥を観察することもできます。野鳥観察ポイントは、国立公園事務所周辺、グードドーイ丘、ムアンピロックへ行く道やチャンプアック山です。野鳥観察は、一年を通して楽しむことができます。





ズグロヤイロチョウ

- 英名: **Hooded Pitta**
学名: ***Pitta sordida***



鳴き声: 「レーウ、レーウ」

えさ: 地面の中にある幼虫やクモ、ミミズなどをえさとして食べます。

特徴: 全長20cm。額と頭頂、後頸は赤茶色で、顔から首まで黒です。胴体の上側と下側は緑色で森との保護色となっています。腹部の下側から尾の付根までは赤色をしています。観察ポイント: 平地から海拔750mまでの疎林の灌木のみで見られます。観察時間: 雨季の終わり頃 (8月-9月) の午後 (15:00-17:00)



アカハシゴジウカラ

- 英名: **Velvet-fronted Nuthatch**
学名: ***Sitta frontalis***

鳴き声: 「テッ、イ、イ、イツ」と鋭く澄んだ声で速く続けて鳴きます。えさ: 枯れた木にいるアリやシロアリや幼虫などの小さな虫を捕食します。常に食欲旺盛で、一日中えさを探しています。特徴: 全長12cm。嘴は鮮やかな赤、胴体の上側は紫がかかった水色をしています。額には黒い羽毛の房があり、アイリングは黄色、喉は白、胴体の下側は薄灰色をしています。観察ポイント: 高さが海拔1,800mまでの熱帯雨林とグードーイ丘 観察時間: 通年。全日観察可能。



オレンジジツゲミ

- 英名: **Orange-headed Thrush**
学名: ***Zoothera citrina***



鳴き声: 「ティ、ティ、ティ、ティ」と続けて鳴きます。

えさ: 熟して下に落ちた果物を食べたり、嘴を使って幼虫や蛹を木の葉を裏返ししながら見つけて食べます。

特徴: 全長22cm。頭と喉、お腹がはっきりとした鮮やかな橙色をしています。腹部の下側と尾の付根の下側は白です。胴体の上側周辺と翼は水色がかかった灰色をしています。

観察ポイント: はずかしがり屋の鳥で、国立公園事務所の灌木の陰などに隠れています。

観察時間: 乾季 (10月-2月) の午前 (6:00-11:00)





タイ中央部

Central Thailand ◀

● **英名: White-browed Piculet** **インドミツユビコゲラ**
学名: *Sasia ochracea*

鳴き声: 鋭く、高く、大きく「キーク、イツ、イツ、イツ」と鳴きます。えさ: 竹藪でえさを探ることが多く、アリや小さな幼虫、小さなクモを食べます。特徴: 全長10cm。上嘴が黒く、下嘴が灰色です。虹彩とアイリングは赤です。羽と足は橙色で少し黄色っぽい場合もあります。観察ポイント: 高さが海拔1,300mまでのグードーイ丘 観察時間: 通年。全日観察可能。



タカサゴダカ ● **英名: Shikra**
学名: *Accipiter badius*

鳴き声: 「ティットウ、ティットウ」 えさ: 小さな鳥や小さなネズミ、リスなどの小型の哺乳類の動物を食べます。えさになる標的を見つけると急降下して爪でつかみ仕留めます。それから、獲物を木の上に持って行き、足でえさを押さえつかみながらついばんで食べます。特徴: 全長36cm。頭と後頸、背、肩、翼の羽、腹、尾にいたるまで、水色がかった灰色をしています。頬の辺りは木の灰のような色をしています。翼の先の方の羽は濃い灰色で、羽先が黒、虹彩は黄色で嘴は暗い水色です。観察ポイント: 平地から海拔1,500mまでの疎林にちかい山地常緑林 観察時間: 通年、午後 (15:00-17:00)



ミドリテリカッコウ ● **英名: Asian Emerald Cuckoo**
学名: *Chrysococcyx maculatus*

鳴き声: 飛び時に鋭く「キー、キー、キー」と鳴いたり、「チョリック、チョリック」と鳴きます。えさ: 飛びながらえさを探し、空中に飛ぶ虫を捕まえます。また、木の枝にいる幼虫をついばんで食べます。特徴: 全長17cm。翼、頭、胸、そして胴体の上側が濃い緑色できらきらとした光沢があります。腹部には白と黒の模様があり、尾の羽の下側と付根部分の下側は白と緑の色が交互になっています。また、嘴は黄褐色で先の方が黒です。

観察ポイント: 平地から海拔1,800mまでの常緑樹林や疎林 観察時間: 乾季 (10月-2月) の午前 (6:00-11:00)



カワリサンコウチョウ ● **英名: Asian Paradise-flycatcher**
学名: *Terpsiphone paradise*

鳴き声: 「ウィー、ウィー、ウィー」 えさ: 飛びながらえさを探し、空中を飛んで来た虫を捕まえて木の枝の上で食べます。特徴: 全長23cm。顔の羽毛と喉は青に近い濃い灰色をしており、腹部は白、翼の羽毛と肩、そして尾は長く美しいです。色は、橙色がかった茶色です。観察ポイント: 平地から海拔1,500mまでの疎林と常緑樹林。観察時間: 乾季 (10月-2月) の午前 (6:00-11:00)



● **英名: Ruby-cheeked Sunbird** **ホオアカコバンタイヨウチョウ**
学名: *Anthreptes singalensis*

鳴き声: 「ウィー、イー」 えさ: 花の蜜を吸う鳥とは異なり虫を食べます。えさを食べる時は短く鋭い嘴を使って、虫を捕まえます。また、空中で静止ししながら翼を羽はたかせたり、枝にぶら下がって逆さまになるのは、敏捷な動きですばやく虫を捕まえるためです。特徴: 全長11cm。喉と胸は橙色で腹部の黄色へと続いています。虹彩は赤、胴体の上側は光りを通す濃い緑色で、頬はザクロのような濃い赤色をしています。羽毛は光に照らされるととても美しい羽をしていて、太陽の光が当たる明るさや角度によって色が変化します。観察ポイント: グードーイ丘の海拔1,300mを超えない高さのところ 観察時間: 通年、午前 (6:00-11:00)





タイ中央部

▶ Central Thailand



● 英名: Verditer Flycatcher
学名: *Eumyias thalassina*  ヒロクショウビタキ

鳴き声: 「テック」 えさ: 灌木の間で飛んでいる虫を捕まえます。地面にいる虫を捕まえることもあります。特徴: 全長17cm。全身が水色の鳥です。一部、目のまわりから短い嘴にかけて漆黒をしています。尾の付根の下側の羽はうろこ状になっているのが特徴です。観察ポイント: 高さが海拔1,800mまでのゲードーイ丘 観察時間: 乾季(10月-2月)の午前(6:00-11:00)

● 英名: Scarlet Minivet
学名: *Pericrocotus flammeus*  ヒイロサンショウクイ

鳴き声: 「スウィップ、スウィップ、スウィップ」と鋭く澄んだ声で続けて鳴きます。えさ: 枝先の花にいる虫を捕まえて食べます。この時に翼を羽はたかして花の中にいる虫を驚かせて追い出し、隠れているところから飛んで出てきて、虫が逃げ出すところを空中で捕食します。特徴: 全長20cm。頭と胴体の上側が黒色で、胴体の下側の赤色とくっきり分かれています。この野鳥は、樹木の緑の中でとても目立つ色をしています。

観察ポイント: ムアンピロックの前へと続くアスファルトの道路沿い 観察時間: 通年、午後(15:00-17:00)



宿泊



トーンパーブーム国立公園には宿泊施設が完備されています。

— 木の上にある宿泊施設2棟は1棟につき2名で利用可能です。料金は、600/バーツ/1泊です。

— 普通タイプの宿泊施設は、2名まで利用で料金600/バーツ/1泊、5名まで利用で料金1,000/バーツ/1泊です。また、宿泊施設には電気がありません。室内にある備品は、ベッドと枕のみです。

— テント 2名まで利用可能。料金は、200/バーツです。毛布は50/バーツ/1枚、枕は20/バーツ/1個で貸し出しサービスがあります。また、テント持参の場合の持ち込み料は、30/バーツ/1泊です。宿泊サービスについてはこちらまで。Tel. (02)562-0760 (タイ語・英語のみ)

Online Booking: www.dnp.go.th トーンパーブーム国立公園へに関するお問い合わせはこちらまで。Tel. (081)382-0359 (タイ語・英語のみ)



アクセス



— バンコクから、国立公園事務所までは約329km。所要時間は約5時間。長距離バスを利用する場合、カンチャナブリー県とトーンパーブーム郡で乗り換えが2回必要です。

— カンチャナブリー県から、国立公園事務所までは約140km。所要時間は約2時間。長距離バスを利用する場合、トーンパーブーム郡で1回乗り換えます。

— トーンパーブーム郡から、トーンパーブーム国立公園事務所までは約60km。所要時間は1時間。

国立公園への入園料は



入園料金は、大人200/バーツ、子供100/バーツ。

レストラン



トーンパーブーム国立公園には、地元のお店があります。

(営業時間8:00-20:30) タイ料理、飲み物、スナック菓子などを販売しています。

耳寄り情報

早朝(6:00-9:00)の時間帯は、国立公園事務所周辺やゲードーイ丘、またはムアンピロックへの道などで、野鳥のえさ場となっているナンヨウザクラやフトモモの木、榕樹(ガジュマル)などの樹木を観察してみましょう。双眼鏡を使わなくても、近くではっきりと野鳥の姿を楽しむことができます。

*備考 本ガイドブックの野鳥の鳴き声は、タイの野鳥観察者が耳にした声をそのまま記録したものです。日本の愛鳥家の皆様も、タイでバードウォッチングを楽しむ機会がありましたら、現地野鳥ガイドからこのような野鳥の鳴き声に耳をすませてみてくださいとアドバイスがあるでしょう。



留鳥



冬鳥



ヤマショウビン

- 英名: Black-capped Kingfisher
- 学名: *Halcyon pileata*

えさ: 河岸や海岸などでカニや魚を捕食します。

特徴: 全長31cm。嘴は鮮やかな赤、頭と顔は黒色です。全身を覆う羽の上側と尾は青で、胴体の下側が茶色です。喉から胸の真ん中ほどにかけては白色です。

観察ポイント: カオデー周辺のマングローブ林

観察時間: 乾季(10月-2月)の午後(15:00-17:00)



シロガシラトビ

- 英名: Brahminy Kite
- 学名: *Haliastur indus*

鳴き声: 「ギック」もしくは「グロウ」 えさ: 水面にいる魚を上空から急降下して爪を使って捕まえます。捕まえるとすぐに空に急上昇し、上空にいながら足の方に身をかがめ、嘴で魚をちぎって食べます。

特徴: 全長51cm。喉と胸部は白色です。肩や腰、尾の付根の羽は赤茶色をしています。翼の先端は黒く、とくに太陽の光を浴びて飞翔している様はとても美しいです。眼は茶色をしており、鼻の穴の周辺には黄色い鼻こぶがあります。観察ポイント: 国立公園事務所周辺の湿地帯 観察時間: 通年、午後(15:00-17:00)



クロエリシロチドリ

- 英名: Malaysian Plover
- 学名: *Charadrius peronii*

鳴き声: 「ウイツ、ウイツ」

えさ: 砂浜で虫や小さな無脊椎生物を捕食します。

特徴: 全長16cm。頭が大きく、首が短いです。頭頂は橙色がかかった茶色で、顔にある線や眼、そして胸は黒です。胴体の上側が茶色でまだら模様があります。腰や足はピンク、もしくはベージュ色をしています。観察ポイント: つがいで生活します。砂利の多い砂浜周辺のサンゴ礁や貝殻のあるところ、パーンカオデー浜周辺、サムブラヤー浜 観察時間: 通年、午前(6:00-11:00)





タイ中央部

Central Thailand ◀

● 英名: Little Tern

学名: *Sterna albifrons*

コアジサシ

鳴き声: 「クリッ、キックキック」 **えさ**: 海岸の砂浜や河川の水面から獲物を探し、魚やカニ、貝を捕食します。また、植物の新芽なども食べます。**特徴**: 全長25cm。嘴は黒く、過眼線、頭頂や後頸、胴体の上側は淡い灰色をしています。翼の羽先は黒くなっています。**繁殖期の羽毛**: 嘴は全体的に鮮やかな黄色で先の方だけ少し黒色、脛や足は橙色です。**観察ポイント**: カオデーン浜周辺 **観察時間**: 乾季 (10月-2月) の午前 (6:00-11:00)



クロサギ

● 英名: Pacific Reef Egret

学名: *Egretta sacra*

鳴き声: 「ウェック」もしくは「オック」 **えさ**: クロサギは水辺の狩りの名人です。標的のえさとなる生物が驚いて姿を現したところを追いかけて捕まえます。えさを探す場所は浅瀬の岩場やサンゴ礁に近い砂場などです。**特徴**: 全長58cm。目と足は黄色です。**黒色型**: 嘴と全身を覆う羽は、すすけた黒色をしています。白色型: 嘴は黄色で、全身の羽はどちらかと言えば長めです。繁殖期には胸や背中、後頸に冠羽が伸びます。**観察ポイント**: カオデーン浜周辺の海岸 **観察時間**: 通年、午後 (15:00-17:00)

● 英名: Grey-tailed Tattler

学名: *Heteroscelus brevipes*

キアシシギ

鳴き声: 飛んでいる時に鳴くことが多く、鋭く大きな声で「チー、ウィッ」もしくは「チー、ウィー、ウィー、ウィッ」と鳴きます。**えさ**: 浅瀬の岩場などにいる小さな生物を捕食します。**特徴**: 全長26cm。白くて長い眉があり、はっきりとした暗い灰色の過眼線、そして、まっすぐな嘴があり、足は黄色です。体の上側を覆う羽は灰色で、腹部は薄灰色です。**繁殖期の羽毛**: 胸と脇に濃い灰色の横斑があります。**観察ポイント**: カオデーン運河周辺の湿地帯の mangrove の根元にいることが多いです。**観察時間**: 乾季 (10月-2月) の午後 (15:00-17:00)



● 英名: Spotted Owl

学名: *Athene brama*

インドコキンメフクロウ

鳴き声: 硬いかんじの大きい声で「チョワーク、チョワーク」と鳴きます。**えさ**: 夜行性で、薄暮時からえさを探し始めます。いろいろな虫やさなぎ、バッタ、夜蝶、小さなネズミなどを食べます。**特徴**: 全長20cm。眼は黄色で、眉は太く、顔の輪郭部分は白です。頭と胴体の上側は暗い灰色で、全体的に白い斑点があります。胸と脇には、白と暗い灰色の交互の縞があり、腹部は白です。**観察ポイント**: 国立公園事務所周辺の森林

観察時間: 通年、薄暮時 (18:00-19:00)

● 英名: Common Redshank

学名: *Tringa tetanus*

アカアシシギ

えさ: 砂浜よりも泥地の周辺でえさを探ることが多い鳥です。エビや幼虫などの小さな無脊椎動物を捕食します。**特徴**: 全長27cm。足は赤です。嘴は基部の上下とも赤く、先端の方が黒くなっています。胴体の上側が褐色をしており、喉と胸の辺りに濃い色の縞があります。腹部や尾は白っぽく、はっきりとした茶色の模様があります。**観察ポイント**: 国立公園事務所周辺の広い干潟

観察時間: 乾季 (10月-2月) の午前 (6:00-11:00)



タイ中央部

▶ Central Thailand



● 英名: Ruddy Kingfisher
学名: *Halcyon coromanda* アカショウビン

鳴き声: 「キウ、キウ」と鋭く、短く鳴きます。えさ: 木の枝につかまって頭を揺らし、尾を動かしながら幼虫や小さなカニ、カタツムリなどのえさを待ちます。えさを見つけると急いで降下し、嘴で捕まえます。そして、また飛んで木の枝に戻り、捕まえたえさを丸ごと飲み込みます。

特徴: 全長26cm。胴体の上側は紫がかかったピンク色をしています。腹部は赤茶色で、上嘴は鮮やかな赤、下嘴は黄褐色をしています。腰の部分は白と水色が交じり合った色をしています。

観察ポイント: 国立公園事務所周辺の湿地帯の木の生い茂った場所

観察時間: 乾季(10月-2月)の午前(6:00-11:00)

● 英名: Collared Kingfisher
学名: *Halcyon chloris* ナンヨウショウビン

鳴き声: 「カケック、カケック」えさ: 木の枝に止まって日向ぼっこをしながら、常に尾を上下に動かしします。空腹になると、えさを探し始めます。カニやエビ、小さな魚を食べます。

特徴: 全長26cm。頭や胴体上部は水色がかかった緑色。喉の周りや胴体の下の方は白く、翼は模様が無く、色は水色です。上嘴が黒で、下嘴がベージュです。観察ポイント: 国立公園事務所周辺の湿地帯辺りのマングローブ樹上

観察時間: 通年、午前(6:00-11:00)



アクセス 

ーバンコクより、カオ・サムローイ・ヨード国立公園事務所までは約360km、所要時間約4時間30分。

ープラチュアップキリカン県ブランブリー郡より、カオ・サムローイ・ヨード国立公園事務所までは約60km、所要時間約1時間。車をチャーターする場合は往復1,500/パーツ、片道1,000/パーツ。

宿泊 

カオ・サムローイ・ヨード国立公園には、6棟の宿泊施設があります。1棟につき、8~25人まで宿泊することができます。使用料金は1棟につき、500~1,000/パーツ/1泊です。全部屋、エアコンの設備はありませんが、ホットシャワーが完備されています。

テント 2人用テントを1泊200/パーツで貸し出ししています。テントの持ち込みは、持ち込み料1泊につき30/パーツです。

国立公園への入園料は 

大人200/パーツ、子供100/パーツ

耳寄り情報



- 水辺に生い茂る樹木やサムローイ・ヨード湿原に咲く大蓮が咲くポイントまで、ネイチャートレイルと呼ばれる長さ300mの遊歩道を歩き、そこで野鳥たちを観察することができます。また、地元で船をレンタル(1,000~1,200/パーツ)して、アヒルの大群や飛翔しているトビが水面までの急降下してくる姿や越冬のためにやって来る渡り鳥たちなど、水鳥を見に行くこともできます。

- カオ・サムローイ・ヨード国立公園では、一年を通して蚊が多く発生しています。サムローイ・ヨードの蚊によるマラリアの発症はありませんが、野鳥観察に出掛ける際は、くれぐれも蚊に刺されないよう虫除け対策は万全に。

*備考: 本ガイドブックの野鳥の鳴き声は、タイの野鳥観察者が耳にした声をそのまま記録したものです。日本の愛鳥家の皆様も、タイでハードウオッチングを楽しむ機会がありましたら、現地野鳥ガイドからそのような野鳥の鳴き声(耳で聞き取った)をぜひお聞き取りいただき、お返事お待ちしております。



留鳥



冬鳥



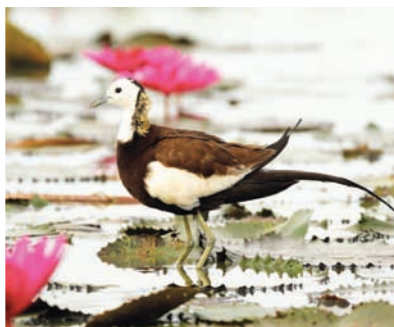
タイ中央部

Central Thailand ◀



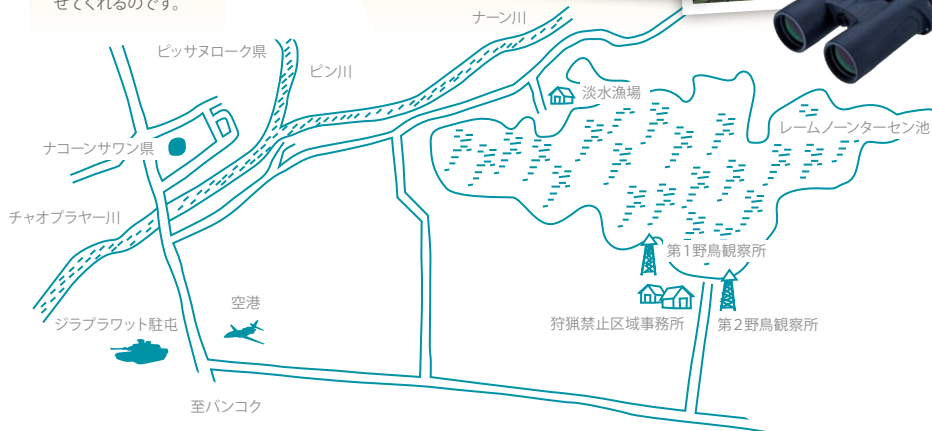
ブンボラペット ナコーンサワン県

BUENG BORRAPHET



ブンボラペットはタイで一番大きな淡水の湖で、ブン=湖の意です。ナコーンサワン県に位置し、総面積は212.3792km²あります。ここは、禁猟区域となっており、ブンボラペットは水鳥たちの楽園と言われています。ここに生息する野鳥は約148種類。また、世界でもここだけで確認されたという貴重な野鳥として、アジアカワツバメ (White-eye River-Martin) が確認されましたが1980年の確認が最後とされ、現在では絶滅したのではないかとされています。野鳥の観察場所ポイントとしては、沼地、蓮池、野鳥観察塔などと、ブンボラペット国立野鳥公園事務所周辺となっています。野鳥観察は一年を通して観察することができ、中でもブンボラペットで野鳥観察に

最適なのが冬(乾季の10月-2月)です。時間は午前7:00-9:00が良いとされています。この時期が良いとされるのは、越冬のためにたくさんの鳥たちがやって来るからです。また、夕陽が地平線に沈む頃の時間帯には何万匹というカルガモの大群が巣へと飛んで帰っていく姿が見られます。そして、6月から8月は、鳥たちの繁殖期となり、留鳥は繁殖期用の鮮やかで美しい羽毛へと生え変わり、パートナー探しを始めます。やがて華麗な求婚の舞も行われ、また一つ新たな野鳥観察の姿を見せてくれるのです。





タイ中央部

▶ Central Thailand



カワセミ

- 英名: Common Kingfisher
- 学名: *Alcedo atthis*



鳴き声: 鋭く、高く「チ、チ」と鳴きます。えさ: 小魚や小さなカエル、淡水にいるエビを食べます。水の上にある木に1羽で静かにじっとしています。水の中にえさを見つけると、距離間を測るために尾を上下に揺ります。そして、えさははっきりと確認できるとすばやく飛びかかり捕まえます。水の中へと飛び込む際、翼を使って方向を定めます。突進して魚を捕まえ、そして、元の宿木に戻るまでの時間はわずか1.16秒です。特徴: 全長17cm。胴体の上部は青と緑が入り混じった色です。背中と腰は水色で、耳のあたりの羽は赤茶色で白い線の羽につながっています。喉は白く、胴体の下の部分は橙色と茶色が混ざった色で、脛と足は赤です。観察ポイント: 野鳥観察塔へ続く遊歩道の間にある沼地沿いの灌木
観察時間: 乾季 (10月-2月) の午前 (6:00-11:00)



アジアコビトウ

- 英名: Little Cormorant
- 学名: *Phalacrocorax niger*



えさ: 水に潜ってえさを探します。淡水の小魚やカエル、エビを食べます。魚を獲った時は水の中から上がってきて、魚をまるごと飲み込んで食べます。特徴: 全長54cm。首は短く、灰色とベージュが混ざった色の短い嘴があります。胴体の羽毛は黒味をおびた茶色。翼と翼を覆う羽毛は茶色と灰色が混ざったような色をしていて、喉の下は白です。観察ポイント: 樹木の切り株の上や池のほとりの木の枝にとまって、日光浴のため羽をついばみながら、長い時間いることがあります。観察時間: 通年、午前 (6:00-11:00)



ヒメヤマセミ

- 英名: Pied Kingfisher
- 学名: *Ceryle rudis*



鳴き声: 「チチリ、チチリ」と鋭く、短く鳴きます。えさ: 上空で翼を羽ばたかせてから、水の中にいる魚を捕まえます。特徴: 全長30cm。嘴は長く鋭く色は黒。頭には短いさかがあり、過眼線は黒です。眉は白く、白と黒の模様がある羽毛です。観察ポイント: 野鳥観察塔へ続く遊歩道の間にある沼地沿いの灌木。
観察時間: 通年、午後 (15:00-17:00)



留鳥



冬鳥



タイ中央部

Central Thailand ◀

● 英名: Green Bee-eater
学名: *Merops orientalis*  ミドリハチクイ

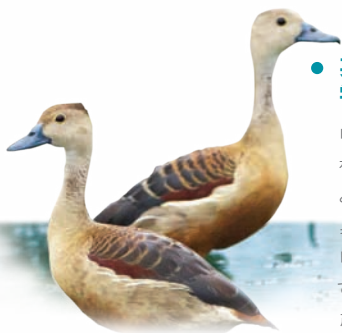
鳴き声: 小さく、鋭く、ふるえたかんじて「トリ、トリ、トリ」と鳴きます。えさ: 木の上でじっとしていますが、えさとなる小さな虫を見つけると飛んでいきます。特徴: 全長18cm。すらっとした体型をしていて、頭と後頸は赤茶色です。黒の過眼線は喉の横まであり、胸の上には太くて短い黒の線があります。胴体、翼、腹部も緑色です。

観察ポイント: 野鳥観察塔へ続く遊歩道の間にある沼地沿いの灌木。観察時間: 通年、午前 (6:00-11:00)



● 英名: Lesser Whistling-Duck
学名: *Dendrocygna javanica*  リュウキュウガモ

鳴き声: 鋭く、高く、大きく「ウイ、ウイ」と呼び笛に似た声で鳴きます。えさ: 嘴を使ってえさを探します。ついでみながら探し、植物の種や浅瀬にいる貝を食べます。潜ってえさを探することもでき、水に潜ってられる時間は1回の潜水につき、15~17秒です。特徴: 全長40cm。全身は黒っぽい赤色です。頭頂の中央は灰色と茶色を混ぜたような色で、頭と顔、首、胸の色は暗めの灰色を混ぜたベージュです。脇と腹部は黄色と茶色が入った赤色で、尾の羽はこげ茶色です。脚と足の先は水色を混ぜたような灰色をしています。観察ポイント: 水草がたくさん生い茂った沼地 観察時間: 通年。全日観察可能。



● 英名: Oriental Darter
学名: *Anhinga melanogaster*  アジアヘビウ

えさ: 水に潜ってえさを探します。淡水の小魚やカエル、エビを食べます。特徴: 全長90cm。首が長く、細くのびたヘビのようです。頭も細長く、突き出した嘴はまるで尖った刀の先端のようです。平らな背や翼にはまっすぐな縞模様があり、胸には白に近い灰色の斑点があります。腰の下と喉は白です。

観察ポイント: レームノーターセン池周辺樹木の切り株の上で日光浴をしています。

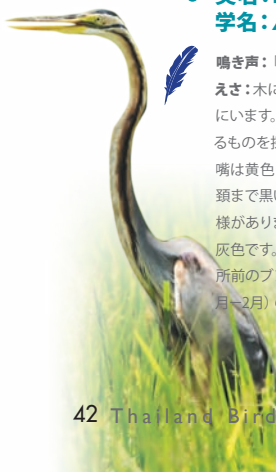
観察時間: 乾季 (10月-2月) の午後 (15:00-17:00)



ムラサキサギ

● 英名: Purple Heron
学名: *Ardea purpurea*

鳴き声: 「ラーク」もしくは「ラーク、ガー」
えさ: 木にとまっていたり、沼地近くの草むらにいます。魚やエビ、カエル、貝など浅瀬にいるものを探して食べます。特徴: 全長90cm。嘴は黄色く、頭と首は赤茶色です。額から後頸まで黒い線があり、首の後ろに大きな縞模様があります。胸と胴体の上部の羽毛の色は灰色です。観察ポイント: 狩猟禁止区域事務所前のブンボラバット沼 観察時間: 乾季 (10月-2月) の午前 (6:00-11:00)



スキハシコウ

● 英名: Asian Openbill
学名: *Anastomus oscitans*

えさ: 歩きながら、大タニシやサクラ貝、カニなどを探して食べます。特徴: 全長80cm。嘴は茶色と黄色が混ざり合った色をしていて、全身の羽の色は灰色、翼の付根と尾は黒です。脛と足はくすんだピンク色です。観察ポイント: 蓮池周辺と水草の連なっている場所。観察時間: 通年、午前 (6:00-11:00)



タイ中央部

▶ Central Thailand



● 英名: **Black-shouldered Kite**
 学名: ***Elanus caeruleus***  **カタグロトビ**

鳴き声: 「グリー、ア」もしくは「ピ、ユー」**えさ**: 翼を羽ばたかせてから広げたままゆっくり飛翔するのは、ネズミや鳥、カエル、トカゲが地面をゆっくり移動している姿を見るためです。見つけるとすばやく降下して、爪で捕まえます。**特徴**: 全長35cm。嘴は黒で、付根は黄色、虹彩は赤です。頭頂と後頸は薄灰色で、背中、肩、腰と尾の付根の羽は灰色です。**観察ポイント**: 野鳥観察塔へ続く遊歩道の間にある木の上にいるのがよく見られます。**観察時間**: 通年、午前(6:00-11:00)

● 英名: **Spot-billed Pelican**
 学名: ***Pelecanus philippensis***  **ハイロペリカン**

えさ: 水辺の生物をえさにします。水の中に突進してえさを嘴で捕まえたり、泳ぎながら嘴とその下にある袋状の体の一部を使って、えさをすくい上げるようにして獲ります。

特徴: 全長140cm。長い嘴があり、その下は袋状になっています。全身の羽毛は白、とさかや首の後ろ側は茶色です。背中下部、脇、尾の下側を覆う羽はピンク色をしています。

尾は灰色がかかった茶色で、脚と足は濃い茶色です。**観察ポイント**: 狩猟禁止区域事務所前のブンボラペット沼 **観察時間**: 乾季(10月-2月)の午後(15:00-17:00)



宿泊



ブンボラペット国立野鳥公園には観光客のための宿泊施設があります。

- ー 快適なお部屋からはブンボラペットの景色を眺めることができ、便利な備品も室内に完備されています。(テレビ、Wi-Fiインターネット、冷蔵庫、エアコン、ホットシャワー) 1棟につき2名様までご利用可能、料金1,000/パーツです。
- ー テント 寝具付(マット、枕、毛布)の貸し出しも行っています。2名利用で、料金300/パーツ。また、テント持ち込みの場合、持ち込み料は50/パーツ。

アクセス



- ー バンコクより、ブンボラペット国立野鳥公園事務所までは約254km、所要時間約4時間。
- ー ナコーンサワンより、ブンボラペット国立野鳥公園事務所までは約20km、所要時間約30分。

国立公園への入園料は



大人200/パーツ、子供100/パーツ。



耳寄り情報

ブンボラペットで水鳥観察をする場合、ボートをレンタルして沼に在る野鳥を観察するのがお勧めです。野鳥観察ポイントは、ピンクの蓮が一面に咲く1.6km以上もある場所です。ここは沼地としても特徴的な場所で、観察に出掛ける時間帯は午前7:00~10:00頃が望ましいでしょう。この時間帯は蓮の花が咲く時間、またたくさんの種類の水鳥たちが集います。野鳥観察のためのボート「バンムおじさんの舟」は、10~15人乗りで、5艘あります。料金は1時間400/パーツ、3時間1,000/パーツ、5時間1,800/パーツ、一日貸切で3,000/パーツです。

*備考 本ガイドブックの野鳥の鳴き声は、タイの野鳥観察者が耳にした声をそのまま記録したものです。日本の愛鳥家の皆様も、タイでバードウォッチングを楽しむ機会がありましたら、現地野鳥ガイドからこのような野鳥の鳴き声に耳をすませてみてくださいとアドバイスがあるでしょう。



留鳥



冬鳥



タイ南部

Southern Thailand ◀



カオソック国立公園 スラターニー県

KHAO SOK NATIONAL PARK

カオソック国立公園は、大型の熱帯雨林生息地でタイ南部でとても貴重な熱帯雨林の森の一つです。総面積は738.74 km²、地形は、土と石灰岩が交互に積み重なった複雑な山で、最高地点は北側で海拔961メートルです。そこには、溪谷を覆いつくすようにうっそうと茂る熱帯雨林があり、川岸に広がる平野には緑あふれる森林が自然の様々な生物たちが生息する場所を作り出し、森の動物たちや300種を超える野鳥たち住処となっています。日ごろ見つけることが難しい珍しい野鳥の発見報告が多くあり、カムリシヤコ、アカチャシヤコ、クロアカヒロバシやコウオクイワシなどが報告されています。

野鳥観察ポイントは、国立公園周辺、ウィンビン滝、ソック運河、バーンリアップナム滝自然遊歩道、サンヤンノーイ自然遊歩道などといった比較的ゆるやかな流れの滝や小さな天然ゴムの林などが最適です。

野鳥の観察のベストシーズンは、12月から4月にかけての乾季です。

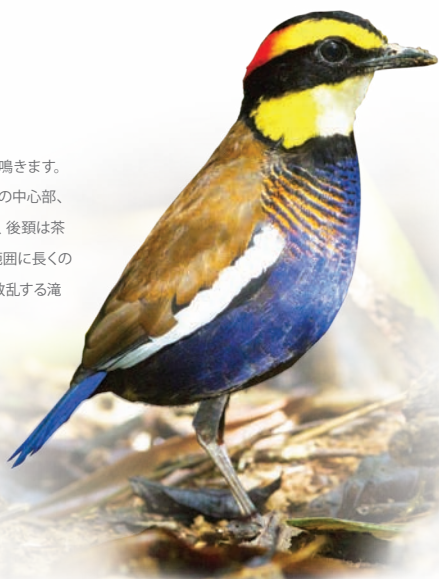




キマユシマヤイロチョウ

- 英名: Banded Pitta
学名: *Pitta guajana*

鳴き声: 「パオウ」と鳴き、大きな声で続けて「グレ」とリズムカクに鳴きます。
えさ: 青虫、昆虫や林床にいる幼虫。特徴: 全長24cm。首は白く、頭の中心部、過眼線、首周りは黒く、眉毛は鮮やかな黄色とオレンジがかった赤で、後頸は茶色、また胴体の下部は濃い青で、オレンジがかった赤色の箇所が広範囲に長くびています。尾は、青色です。観察ポイント: 川岸の熱帯雨林や石の散乱する滝付近。観察時間: 乾季後半(12月-4月)の午後(15:00-17:00)



アオムネカワセミ

- 英名: Blue-banded Kingfisher
学名: *Alcedo euryzona*

えさ: 水源近くで食べ物を探します。小枝にとまり水源周辺の獲物を探し、獲物を見つけると嘴で水中にいる獲物をつまみ出します。主なえさは、小魚、エビや蛙です。特徴: 全長20cm。頭、翼及び背中上部は、黒っぽい青色で、翼には青い蛍光色の点が見受けられます。背中中央部は蛍光の水色で、脛と足は赤色です。観察ポイント: 小丘の石や運河付近。観察時間: 通年の午後(15:00-17:00)

クロサイチョウ

- 英名: Black Hornbill
学名: *Anthracosceros malayanus*

鳴き声: 「エ-エ-エック」と鳴き、動物のうなり声のようなハスキーで低い大きな鳴き声です。えさ: 宿根草の中でえさを探したり、木の芽を食べます。主に熟した果実を食べ、特に榕樹の実などを好みます。特徴: 全長76cm。嘴や額の隆起部は淡い黄色で、アイリングは皮膚が露出しており、首の下は黒色です。眼は濃い赤で、全身の羽毛は黒、体の上部は青緑色です。尾の最上部は全体が黒で、足と足の指は黒色です。観察ポイント: 溪流下流部の熱帯雨林や運河付近。観察時間: 乾季後半(12月-4月)の午後(15:00-17:00)





タイ南部

Southern Thailand ◀

● 英名: Raffles's Malkoha
学名: *Phaenicophaeus chlorophaeus* クリイロバンケンモドキ

鳴き声: ハスキーな声で短く「ケックケウ」と鳴きます。えさ: 木々がうっそうと茂る中枝から枝へと飛び、キリギリスや毛虫を好んで食べます。特徴: 全長35cm。頭、胴体の上部と下部は赤茶色っぽい橙色で、尾は黒茶色でその先は白く、アイリングは水色です。観察ポイント: 森や流れのなだらかな滝周辺。観察時間: 通年の朝方 (7:00-11:00)



ノドアカゴシキドリ

● 英名: Red-throated Barbet
学名: *Megalaima mystacophanos*

鳴き声: 「チュック-チュック-チュック-チュック-チュック-チュック」と続けて鳴きます。えさ: 熟した果物や昆虫を食べます。また、腐りかけた木の幹にとまって、木の中にいる幼虫を穿り出すため、口ばしで樹皮をつつきます。特徴: 全長24cm。青地に首は赤く、側面には赤の彩色が小さく入っています。過眼線は黒く、顔は黄色で、後頸は赤色です。観察ポイント: カオソック国立公園事務所周辺の葉が生い茂る木のアたり。観察時間: 通年の朝方 (7:00-11:00)



コシアカキヌバネドリ

● 英名: Scarlet-rumped Trogon
学名: *Harpactes duvaucelii*

鳴き声: 「ティ-カイツ」と続けて10数回ぐらい鳴き、最後のほうは鋭く早く鳴きます。えさ: 蝶やキリギリスを捕まえるのが得意です。

特徴: 全長25cm。頭、顎及び首は黒く、肩や背は濃い茶色で、腰、尾の付根上部を覆う羽毛は、濃い赤色で、翼を覆っている羽毛は、黒と白の交互のラインになっており、胸、腹、わき腰や尾の付根下部を覆う羽毛は赤色です。観察ポイント: カオソック国立公園事務所の木々の茂っている周辺。観察時間: 乾季後半 (12月-4月) の午前中 (7:00-11:00)



チャムネバンケンモドキ

● 英名: Chestnut-breasted Malkoha
学名: *Phaenicophaeus curvirostris*

鳴き声: ハスキーな声で「ケック-ケック-ケック」と鳴きます。えさ: 木々がうっそうと茂る中枝から枝へと飛び、キリギリス、毛虫、青虫や幼虫を好んで食べます。特徴: 全長46cm。アイリングは赤く、嘴中央部も赤です。胴体上部は光沢のある濃い鉄色で、胴体後部は濃い赤茶色で、尾の先は、濃い茶色です。観察ポイント: 森や流れのなだらかな滝周辺。観察時間: 通年の朝方 (7:00-11:00)

● 英名: Buffy Fish Owl
学名: *Ketupa ketupu* マレーウオミミズク

鳴き声: 低くリズムカルに「プップ-プップ」と鳴きます。えさ: 夕刻時溪谷付近でえさを探します。水面付近に魚が上がってくると急降下し、爪を使って魚をすばやく捕まえます。特徴: 全長38cm。広い額は白く、首から腰にかけては黒っぽい茶色で、頸、首の下、更には胸そして腹部は、茶色っぽい黄色です。眼は大きくて丸い黄色です。観察ポイント: 溪流近くの木の枝、運河のほとり周辺。

観察時間: 通年の夕刻 (18:00-19:00)





● 英名: Blue-eared Kingfisher
学名: *Alcedo meninting* **ルリカワセミ**

鳴き声: 「チ-チ-チ」と鋭い高い声で鳴きます。えさ: 常に水の近くに生息しえさを探します。主な食べ物、水中にいる魚、青蛙、エビや昆虫などです。特徴: 全長16cm。嘴は黒く、頭、翼、背及び尾は濃い青色で、背中中央部は、濃い水色。腹は濃い赤茶色で、脛と足は赤色です。

観察ポイント: 石の散乱する滝周辺の小枝にとまっていることが多いです。

観察時間: 通年の午後 (15:00-17:00)

● 英名: Green Broadbill
学名: *Calyptomena viridis* **ミドリヒロハシ**

鳴き声: 「ジウ-ジウ」と鋭い高い声で鳴きます。えさ: 水源地近くで果物を探して食べます。

特徴: 全長17cm。体全体が鮮やかな緑色で、眼は黒く、耳を包んでいる羽毛は、三日月形で、羽毛が額より嘴の付根まで覆っているで頭が大きく丸く見えます。嘴は短く、翼は緑地にところどころ黒い部分があります。観察ポイント: 滝の流れのゆるやかな自然道。観察時間: 通年の午後 (15:00-17:00)

**宿泊**

- 宿泊施設は一棟6名までで、料金は1名当たり600バーツ、エアコンなし、共同トイレとホットシャワーがあります。
- ラーチャブラバードダム内に浮かぶ筏バンガローは、一部屋2-4名で料金は1名あたり800バーツです。
- テント2名用100/バーツ、5名用300/バーツです。

アクセス

- スラターニー-カオソック国立公園事務所間は距離にして約120kmで、所要時間は約2時間です。
- 国立公園内には、ラーチャブラバードダム内の石灰岩の島の絶景を楽しみながら船で遊覧できます。「大きなエメラルド色の広い湖の中央に、小高くぬき出た石灰岩の山が立ち並び、そこには美しい絶景が広がっています。往復乗船代金は1,800-2,500バーツです。

国立公園への入園料は

大人200バーツ、子ども100バーツ

レストラン

カオソック国立公園事務所周辺に 地元のお店やタイレストランセンターがあり、観光客へのサービスも行なっています。一人一食約200バーツで、24時間営業です。

耳寄り情報

バードウォッチングを行なう上で特に気をつけなければならないことは、森の木々の色に溶け込むような色合いの服を着用することです。そして、急がずゆっくり歩きながら少しずつバードウォッチングしていると、美しい野鳥と遭遇するチャンスが多くなります。カオソック国立公園が他のバードウォッチングのポイントと大きく違う点は、日が昇ってから日が暮れるまでバードウォッチングが楽しめることです。

*備考 本ガイドブックの野鳥の鳴き声は、タイの野鳥観察者が耳にした声をそのまま記録したものです。日本の愛鳥家の皆様も、タイでバードウォッチングを楽しむ機会がありましたら、現地野鳥ガイドからこのような野鳥の鳴き声に耳をすませてみてくださいとアドバイスがあるでしょう。





タイ南部

Southern Thailand ◀



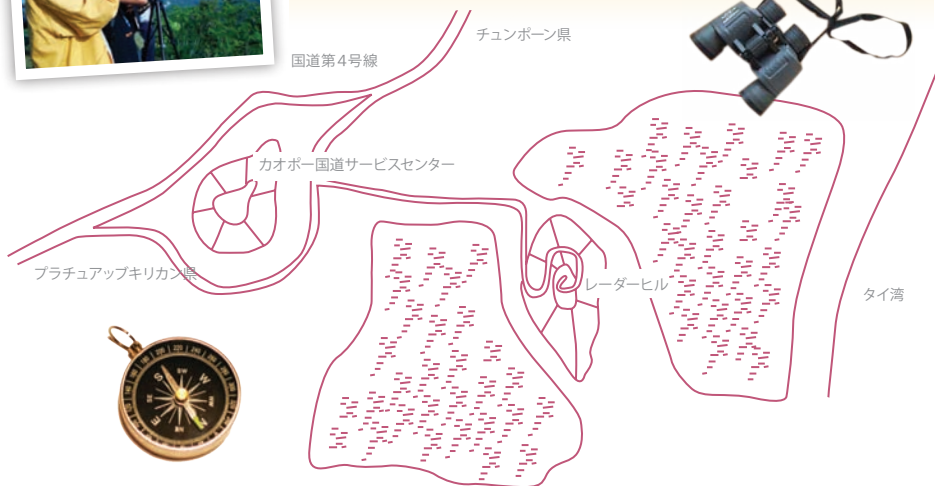
レーダーヒル プラチュアップキリカン県

RADAR HILL



レーダーヒルは、プラチュアップキリカン県パーンサバンノイ郡に位置し、2005年から渡ってきたタカやワシなどを観察できるポイントです。地形は、海拔200mのそれほど高くない山と椰子や田んぼが広がり、渡り鳥としてのタカが留まるのに最適な場所です。上部は見晴らしが良いので、タカにかなり接近しながらパノラマで観察できます。

タカの観察のベストシーズンは、10月-11月で時間帯は朝方から10:00ごろです。毎年何十万羽ものタカの群れがこの場所に同時に飛んでくるという様子、まさに自然の神秘と言えるでしょう。





ハヤブサ

- 英名: Peregrine Falcon
学名: *Falco peregrinus*



鳴き声: 「ティウ...ティウ...」

えさ: 北へ飛ぶ習性を持ち、狩りをする鳥としていつも空高く飛んでいます。

狙いを定めた獲物を捕まえようと速く飛ぶため、地球の引力を上手く使いながら力強く翼を羽ばたかせ急降下します。この種のタカは、時速300km以上の速さで飛ぶことができ、世界中の他の鳥たちよりも速く飛ぶことができます。そして自分の体重以上の重さの獲物を捕獲することもできます。

特徴: 全長48cm。下部周辺の色は、赤橙色で、胸周辺や腹は褪せた橙色です。

観察ポイント: レーダーヒル頂上の見晴らしの良い場所。

観察時間: 乾季(10月-11月)の朝方(6:00-10:00)



トビ

- 英名: Black Kite
学名: *Milvus migrans*



鳴き声: 「ビートト...」や「イウウウ・エウウ」

えさ: 魚、雛鳥、ネズミ、ウサギや動物の死骸などを食べます。

特徴: 全長60cm。胴体は、上下部とも濃い黄色をおびた茶色で、翼は濃い茶色、嘴は短く、黒く鋭く尖っています。また、嘴の先端は、鋭く曲線を描いたような形(鷹口のよう)です。

観察ポイント: レーダーヒル頂上の見晴らしの良い場所。

観察時間: 乾季(10月-11月)の朝方(6:00-10:00)



- 英名: Crested Serpent-Eagle
学名: *Spilornis cheela*



カムリワシ

鳴き声: 鋭く、高く「ウィウ・ウィウ」と鳴きます。えさ: 蛇、哺乳類の小動物を捕食します。見通しの良い大きな枝にとまって獲物を見つけると急降下し、獲物を捕獲すると木の枝の上で食べます。特徴: 全長76cm。全身茶色で、嘴周辺から眼にかけては鮮やかな黄色の皮膚で覆われています。後頭の毛はかなり長く、頭、翼そして腹には、全体に白の斑があります。尾は白の縞模様で大きく平らです。観察ポイント: レーダーヒル頂上の見晴らしの良い場所。観察時間: 乾季(10月-11月)の朝方(6:00-10:00)





タイ南部

Southern Thailand ◀

- 英名: Greater Spotted Eagle
学名: *Aquila clanga*



カラフトワシ



鳴き声: 「ウィーウィーウーウィー」 えさ: 大きな木の枝の上にいることが多く、哺乳類の小動物などの獲物を見つけると、急降下し獲物を捕獲すると木の枝の上で食べます。特徴: 全長70cm。眼は茶色、嘴は小さく、尾は短いです。胴体上部はこげ茶色で、翼の付け根周辺は色が薄く、腰は白っぽく、尾の先は丸みをおびた形になっています。観察ポイント: レーダーヒル頂上の見晴らしの良い場所。観察時間: 乾季(10月-11月)の朝方(6:00-10:00)

- 英名: Amur Falcon

学名: *Falco amurensis*

アカアシチョウゲンボウ

鳴き声: 「ギュー-ギュー-ギュー」 えさ: 大きな木の枝の上にいることが多く、哺乳類の小動物などの獲物を見つけると、急降下し獲物を捕獲すると木の枝の上で食べます。特徴: 全長31cm。アイリングや鼻を覆っている皮膚は濃い赤色で、胴体は濃い灰色です。胴体下部は薄い灰色で、臀部は赤茶色、足は濃い赤色です。観察ポイント: レーダーヒル頂上の見晴らしの良い場所。観察時間: 乾季(10月-11月)の朝方(6:00-11:00)

- 英名: Grey-faced Buzzard

学名: *Butastur indicus*

サシバ

鳴き声: 「ジ-ジ-」 えさ: ネズミ、蛙や爬虫類などの獲物を探するために、大きな木の枝の上にいることが多いです。

特徴: 全長49cm。眼と鼻を覆う皮膚は黄色、頭は灰色で眉毛は小さく白く、胸は茶色で濃い色のラインが長く入っています。胴体上部は灰色っぽい茶色で、翼は鋭く細く、しっかり飛べるように翼を大きく羽ばたかせます。

観察ポイント: レーダーヒル頂上の見晴らしの良い場所。観察時間: 乾季(10月-11月)の朝方(6:00-10:00)



宿泊



レーダーヒルの頂上は宿泊施設などがないので、バーンサバーンノイ郡内かチュンボン(70kmほど離れたところで、所要時間はおよそ1時間)の宿泊施設を利用することをお勧めします。

アクセス



- バンコク-ブランブリー-レーダーヒル間の距離は約450kmで、所要時間は約5時間です。
- チュンボン-レーダーヒル間の距離は約70kmで、所要時間は約1時間です。

レストラン



カオポー国道サービスセンターのレストランの営業時間は8:00-21:00で、タイ料理一人当たり一食200-300バツです。


耳寄り情報

10月の第2週目ぐらいまでは、様々な種類のタカがたくさん集まる時期です。レーダーヒルでのタカの観察において、頂上付近では食料や飲用水の販売がないため、予め用意して持参するようにしましょう。

*備考 本ガイドブックの野鳥の鳴き声は、タイの野鳥観察者が耳にした声をそのまま記録したものです。日本の愛鳥家の皆様も、タイでバードウォッチングを楽しむ機会がありましたら、現地野鳥ガイドからこのような野鳥の鳴き声に耳をすませてみてくださいとアドバイスがあるでしょう。



野鳥たちの写真



ミドリオタイヨウチョウ
英名: Green-tailed Sunbird
学名: *Aethopyga nipalensis*




ズグロヤイロチョウ
英名: Hooded Pitta
学名: *Pitta sordida*




キマユシマヤイロチョウ
英名: Banded Pitta
学名: *Pitta guajana*




ハヤブサ
英名: Peregrine Falcon
学名: *Falco peregrinus*




ヤマショウビン
英名: Black-capped Kingfisher
学名: *Halcyon pileata*




ルリヤイロチョウ
英名: Blue Pitta
学名: *Pitta cyanea*




オオサイチョウ
英名: Great Hornbill
学名: *Buceros bicornis*



セグロミツユビカワセミ
英名: Black-backed Kingfisher
学名: *Ceyx erithacus*



シマハッカク
英名: Siamese Fireback
学名: *Lophura diardi*



カワセミ
英名: Common Kingfisher
学名: *Alcedo atthis*

野鳥観察（バードウォッチング）の準備



タイ国内の国立公園、野生動物保護区、狩猟禁止区域や保護区などいかなる場所での野鳥観察所においても、出発前に下記のような装備や準備をすることをお勧めします。

1. まず野鳥観察する場所の情報を調べておくこと。例えば、野鳥観察所までのアクセス方法、野鳥観察所の園内の道順やその周辺に生息している自然植物の種類、地理や気候など。
2. その野鳥観察所で発見できそうな野鳥の種類を予め調べておくこと。
3. 野鳥観察に必要な道具を用意しておくこと。例えば、双眼鏡（Binoculars）、望遠鏡（Telescope）などの野鳥観察に適した度数は、7x-10x。また、ブンソン レカグン医師とフィリップ ディ ラウンド氏により編集された「タイの野鳥ガイド」（A Guide to The Birds of Thailand）を参考にすることもよい。またメモ帳を持参し、野鳥に関する様々な詳細を記載すると共に、その野鳥を発見した時の状況、場所や日時を詳しく記録しておく。
4. 大自然の中の野鳥観測所への移動に欠かせない道具・装備を用意する。帽子や飲料水を持参し、服装は緑、茶や灰色といった自然環境に馴染む色合いのものが好ましい。持病のある方は常用薬を常備し、バンドエイド、痛み止めの薬なども持参、虫よけ対策も万全に。

野鳥観測者としての心得

1. 常に野鳥たちの居心地の良さや安全を何よりも最優先すること。
2. いかなる活動であれ、野鳥たちの日常生活の妨げにならないこととはしない。
3. 自然破壊や野鳥の巣周辺の環境を変えてしまわないよう、細心の注意を払うこと。
4. いかなる活動であれ、その巣の捕食動物を巣周辺へ持ち込むことはしない。
5. もし稀有な野鳥を発見し特別な保護が必要と考えた場合、その区域の職員、またはタイ鳥類保護協会（BCST）へ連絡すること。
6. 発見した野鳥について記録し、保全活動に役立ててもらうためタイ鳥類保護協会（BCST）へ報告すること。
7. 現地の人やその土地の所有者の権利を尊重し、土地所有者が許可しない限り無断でその土地に侵入しないこと。
8. 野鳥についての知識や理解の促進に努め、さらに野鳥やその生息地の保全のためにも、野鳥観察者の心得を多くの人へ普及させること。

野鳥観察への旅

タイでは、車をチャーターすれば目的地へのアクセスも難しくありません。自身での移動が困難な愛鳥家の方へは、下記のような準備をお勧めします。

- 日本から渡航される観光客は、日本国内の旅行代理店窓口にてタイ国内の移動手段を予め予約されることをお勧めします。
- タイ国内の旅行代理店でも、車のチャーターサービスなどの申し込みができます。
- 現地旅行代理店やタイ鳥類保護協会（BCST）などのサービス一覧は下記をご参照ください。

Bird Eye View Tours Company Limited: TAT No. 11/2680

日本語の話せる野鳥観察ガイドがタイ全国を案内します。

Tel. (02)742-0194/5

E-mail: birdseyevietour@yahoo.com

www.birdseyevietours.com

Lamnao Prai Company Limited: TAT No. 11/06418

自然や野鳥観察におけるベテラン旅行代理店。英語が話せるガイドがいます。

Tel.(02)735-0644

E-mail: ntrails@truemail.co.th

www.lamnaoprai.com

タイ鳥類保護協会（BCST）

タイ国内の様々な野鳥に関するデータを収集している民間団体。毎月野鳥観察などの活動有り。タイ全国の野鳥観察の案内ができるベテランガイドがいます。

Tel. (02)588-2244

www.bcst.or.th

または、直接野鳥観察ガイドのアモーン氏（Mr.Amorn）

へご連絡下さい。（タイ語・英語のみ）Tel. (081)817-4823

E-mail: amorn_liu@yahoo.com



タイ自然保護活動家達の伝記

ブンソン レカグン医師

ブンソン レカグン医師は、自然保護条例、動物保護条例、また国立公園に関する条例の制定に向けた推進活動において重要な役割を担った人物です。ブンソン医師はこの活動に多大なる力を尽くし貢献しました。そのことにより、タイの人々の間に自然や環境に対する保護の意識が浸透し、結果として多くの自然保護団体の設立のきっかけを作ったのです。そうした設立者達のほとんどが、医師の尽力により自然保護への考えや精神を確立することができたと述べています。ブンソン医師は人々から、「タイ自然・動物保護の父」として崇められるようになったのは、こうした所以なのです。www.boonsongconservationthailand.com



スーブ ナーカサティヤン氏

森林、動物、そして自然を愛し、実際にその思いを言葉や行動に表した人物です。スーブ ナーカサティヤン氏の死は自然を愛する者や社会の真理を追い求める者にとって、深い衝撃を与えるものとなりました。なぜなら、スーブ氏は生前、タイ国自然保護活動において、森林資源保護や自然環境保護のために力を尽くした重要な先導者であったからです。そのためスーブ氏の逝去は、これらの保護活動に對して大きな損失となり、また全ての保護活動家においても、偉大なリーダーを失うこととなったのです。スーブ氏の残した自然への探求心と深い情愛は、これからも忘れ去られることなく、人々の記憶の中に残り受け継がれてゆくことでしょう。

www.seub.or.th



「私にとって外で自然に触れるという行為は、まるで自分自身の身体を再起動させるためのバッテリーを充電するような感覚があります。旅行に出掛けた際にたとえ写真撮ることができずに家路に着くことになっても幸せは感じられます。そこには、写真よりも大きな価値のある幸福感があるのです。」

Mr. Supachai Sungkatat na Ayutthaya,
Bird Photographer



「バードウォッチングは、大きく視野を広げてくれます。想像・イマジネーションそして知識など。この小さな生き物たちは、美しい羽を持ち、自然が生み出す美しい無数の羽毛をまといっています。あるものは虫を捕まえ、また、あるものは魚を捕まえ、そして、木を捕えるものもいます。私に一妻合う特別な方程式とは、美しさ+想像+幸福=バードウォッチングなのです。」

Mr. Narongsak Phajharoen, Bird Adviser

「バードウォッチングは、自然保護への意識を芽生えさせるものです。そして、それは楽しみに満ち溢れています。選き通った声の歌手が歌う美しい旋律の詩、また、森全体の生態系を繋ぐ役割をも担っています。この緑溢れる劇場は、ただ楽しませるというだけでなく、青いこの地球上の全てのものが、不思議な繋がりを持っているということを私たちに教えてくれるのです。」

Mr. Thanaphon Borihanthanachot and Mr. Kriangkrai Koochayanont,
Editor of Longstay Guide Magazine

1948年淡路島に生まれる。酪農学園大学獣医学部卒業、獣医師。タイ国チェンマイでロングステイの傍ら、妻と二人で野鳥や動物の観察をライフワークにしている。著作に「チェンマイ・バードウォッチング・ガイド」(非売品)がある。

Mr. Okabe Kazuhiko, Japanese Bird Adviser

感動とは

「学生の時、自然宿泊研修で初めて双眼鏡を使って鳥を観察しました。それから10年が経ちましたが、今日に至るまで一番最初に双眼鏡で見た鳥の姿が今でも目に焼きついて離れません。趣味が高じて勉強を始め、今ではそれが仕事となりました。同じ種類のいつも見ているような鳥であっても、何度繰り返し見ても飽きることはありません。きっとこれからも、ずっと鳥を見続けていくのだと思います。」

Mr. Woraphot Bunkhwamdi, Lanna Bird and Nature Conservation Club





和名:ゴシキソウシチョウ



- タイ国政府観光庁 パンコク（ヘッドオフィス）
1500 New Phetchaburi Rd., Makkasan, Ratchathevi, Bangkok 10400
TEL: (02) 250-5500, TAT Contact Center: 1672
- タイ国政府観光庁 ベンチャープリ-事務所
500/751 Phetkasem Rd., A.Cha-am, Phetchaburi 76120
TEL: (032) 471-005, 471-006
- タイ国政府観光庁 チェンマイ事務所
105/1 Chiang Mai-Lamphun Rd., T.Wat Ket, A. Muang, Chiang Mai 50000
TEL: (053) 248-604, 248-607
- タイ国政府観光庁 ナコーンラーチャシーマー事務所
2102-2104 Mitraphap Rd., T.Nai Muang, A.Muang,
Nakhon Ratchasima 30000 TEL: (044) 213-030, 213-666
- タイ国政府観光庁 カンチャナブリー事務所
14 Saengchuto Rd., T.Bannua, A.Muang, Kanchanaburi 71000
TEL: (034) 511-200, 512-500
- タイ国政府観光庁 プラチュアップキリカン事務所
39/4 Phetkasem Rd., T.Hua Hin, A.Hua Hin, Prachuap Khiri Khan 77000
TEL: (032) 513-854, 513-871, 513-885
- タイ国政府観光庁 ウタイターニー事務所
100/1-2 Uthai Thani Tourism Promotion Center, Sri Uthai Rd., A.Muang,
Uthai Thani 61000 TEL: (056) 514-651, 514-652
- タイ国政府観光庁 スラターニー事務所
5 Thalad Mai Rd., Baan Don, A.Muang, Surat Thani 84000
TEL: (077) 288-818, 288-819

-
- タイ国政府観光庁 東京事務所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館2F TEL:03-3218-0355 FAX:03-3218-0655 info@tattky.com
 - タイ国政府観光庁 大阪事務所 〒550-0014 大阪市西区北堀江1-6-8 テクノール四ツ橋ビル2F TEL:06-6543-6654, 6655 FAX:06-6543-6660 info@tatosa.com
 - タイ国政府観光庁 福岡事務所 〒810-0001福岡市中央区天神1-4-2 エルガーラ6F TEL:092-725-8808 FAX:092-735-4434 info@tatfuk.com